

**事業名** 平成21年度 子ども読書ボランティアリーダー育成講座（合同研修会）

**趣 旨** 子どもの読書活動を推進するため、読み聞かせ等のボランティアの更なる質の向上を目指して講座を開催し、地域におけるリーダーの育成とネットワークの構築を図る。

**実施主体** 新潟県教育庁生涯学習推進課

**参加対象** 読み聞かせ等の子ども読書ボランティア活動に参加した経験のある人  
子ども読書活動関係者

**参加者数** 189人

**回数** 1回 **日 数** 1日 **時 間** 4時間

**場 所** 新潟県立生涯学習推進センター

**内 容**

回	期日・時間	テ ー マ	講師等
1	10月1日(木) 10:30～12:30	楽しい本の世界にいざなうために	東京子ども図書館 常務理事 荒井 督子 氏
	内 容	○ 講 演 ・子ども読書の原点について ・公立図書館、学校図書館の意義	・本が語りかける環境づくりの重要性 ・本を手渡す大人の役割について
	13:30～15:30	事例発表&情報交換	<助言者> 東京子ども図書館 常務理事 荒井 督子 氏
	内 容	○事例発表 ・五泉市立第一幼稚園 園長 鈴木 典子 氏 「絵本を核として想像を広げ、豊かに表現する子どもを育てる教育実践」 ・新潟市江南区教育事務所 指導主事 宮下 寿雄 氏 「学校における読書の実態、子どもを読書好きにするための実践」 ・新潟市立月潟小学校 学校司書 成田 由美 氏 「学校図書館の活性化を図る司書の取組、読書好きにするための子どもへの働き掛け」  ○情報交換	

- 成 果**
- ・ 講演は参加者にとって興味深い内容であり、環境づくりの大切さ、本を手渡す大人の重要性、ボランティアを支えるバックボーンの意義等について学ぶことができた。また、荒井氏のストーリーテリングを直に聴くことができ、今後の参考となった。
  - ・ 学校や幼稚園の現状、ボランティアとしての問題点、司書との連携等について、事例を基にした有意義な情報交換ができた。
  - ・ 参加者アンケートの結果では、99%が役立つ研修であったと評価していた。
- 課 題**
- ・ 情報交換の内容を精査し、課題をより明確にする必要がある。

**問合せ先** 新潟県教育庁生涯学習推進課 成人教育係（担当 須貝 育子）  
TEL：025-280-5617 FAX：025-284-9396

**事業名** 平成21年度 子ども読書ボランティアリーダー育成講座（三条研修会）

**趣 旨** 子どもの読書活動を推進するため、読み聞かせ等のボランティアの更なる質の向上を目指して講座を開催し、地域におけるリーダーの育成とネットワークの構築を図る。

**実施主体** 新潟県教育庁生涯学習推進課・三条市立図書館

**参加対象** 読み聞かせ等の子ども読書ボランティア活動に参加した経験のある人  
子ども読書活動関係者

**参加者数** 39 人

**回 数** 1回                      **日 数** 1日                      **時 間** 3時間

**場 所** 三条市立図書館本館

**内 容**

回	期日・時間	テ ー マ	講師等
	12月6日(日) 13:30～16:30	「作ってみよう！お話会のプログラム」 ～子どもたちと読書の幸せな出会い～	全日本読語りネット ワーク運営委員長 佐藤 涼子 氏
1	内 容	<p>○ 講 義</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラムを考える前に</li> <li>・お話会の対象や条件について</li> <li>・プログラムの基本となる資料についての知識、本の世界を伝える力を培う</li> <li>・プログラムの流れを作る</li> <li>・練習</li> <li>・記録</li> </ul> <p>○ 実 習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・30分のお話会「冬プログラム」・・・各受講者による発表（事前課題）</li> <li>・講師による評価</li> </ul>	

**成 果**

- ・参加者の発表を基に、お話会の基本となるプログラムについて実践的な指導を頂き、今後の活動に活かせる有意義な講座となった。
- ・20事例以上のお話会プログラムの内容を知ることができ、良い刺激となった。また、よりよいプログラム作りのための豊富な資料とすることができ、参加者のスキルアップになった。

**課 題**

- ・講師への質問や参加者同士の交流等、情報交換の時間を確保する必要がある。

**問合せ先** 新潟県教育庁生涯学習推進課 成人教育係（担当 須貝 育子）  
Tel：025-280-5617 FAX：025-284-9396

**事業名** 平成21年度 子ども読書ボランティアリーダー育成講座（上越地区）

**趣 旨** 子どもの読書活動を推進するため、既に活動している子ども読書ボランティアの更なる質の向上を目指して講座等を開催し、地域におけるリーダーの育成とネットワークの構築を図る。

**実施主体** 新潟県教育庁生涯学習推進課・上越教育事務所  
**参加対象** 読み聞かせ等の子ども読書ボランティア活動に参加した経験のある方  
 （子ども読書ボランティア活動に参加予定の方を含む）

**参加者数** 42名（第1回・第2回）、24名（第3回・第4回）  
**回数** 4回 **日数** 4日 **時間** 第1回・第2回（2時間）  
 第3回・第4回（5時間）

**場 所** 上越教育事務所303会議室  
**内 容**

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	10月9日（金） 10:00～12:00	読み語りの基礎の確認	絵本読み聞かせの会 はらぺこあおむし代表 JPIC読書アドバイザー 朝日仁美
	内容・方法	①本講座の説明（講師自己紹介、講座受講への心構えと講座概要の説明） ②各自が持参した絵本を使った自己紹介（参加名簿の偶数番号者）《1人：2分以内》 ③技法の確認（発声や本の持ち方・ページのめくり方等について、実際に声に出しての練習） ④質疑応答及び振り返り、次回のお知らせ	
2	10月16日（金） 10:00～15:00	読み語りのプログラムと選書の在り方	絵本読み聞かせの会 はらぺこあおむし代表 JPIC読書アドバイザー 朝日仁美
	内容・方法	①講話「実施場所や対象者に応じた読み語りの企画、選書の考え方」 ②各自が持参した絵本を使った自己紹介（参加名簿の奇数番号者）《1人：2分以内》 ③グループワーク（よい本とはどんな本だろう？よい本を伝えるために必要なことは？） ④質疑応答及び振り返り、次回のお知らせ	
3	10月30日（金） 10:00～15:00	依頼相手との関係と連携方法	絵本読み聞かせの会 はらぺこあおむし代表 JPIC読書アドバイザー 朝日仁美
	内容・方法	①グループワーク（ボランティアとは何か？ 今置かれている立場でのうまくいったこと、困ったこと、腹が立ったこと） ②講話「ボランティアとは何だろう？本来の姿、役割」 ③質疑応答及び振り返り、次回のお知らせ	
4	11月6日（金） 10:00～12:00	グループ員の育成と研修、ネットワーク作り	絵本読み聞かせの会 はらぺこあおむし代表 JPIC読書アドバイザー 朝日仁美
	内容・方法	①講話「リーダーとしてのこれから、グループ員を育てる難しさ、ネットワーク作り」 ②会員同士の情報交換 ③質疑応答及び振り返り	

**成 果**

- ・ 本講座2年目の講師であり、昨年度の経験を踏まえた講座内容を企画したことで、リーダー育成にふさわしい内容の講座を実施することができた。
- ・ 昨年度の反省を生かし、午後へも講座の時間を延長した。その結果、講話やグループワークに十分なゆとりが生まれた。グループワークでは各自の実践や悩み等を十分に情報交換することができ、受講者自身が自己の見識を広げたり深めたりすることができた。
- ・ 毎回、講師持参のたくさんの絵本や、受講者が自己紹介で持ち寄った本を通して熱心に情報交換するボランティアの姿が見られた。受講者それぞれに、今後の活動に生かそうとする意欲が感じられた。

**課 題** ・ ボランティア経験の差をほぼ等質にした参加募集の方がよいのか検討したい。

**問合せ先** 新潟県教育庁上越教育事務所社会教育課（担当：猪又英一）

〒943-8551 上越市本城町5-6 TEL 025-526-9377 FAX 025-523-7542  
 E-mail ngt501010@pref.niigata.lg.jp

## 事業名 平成21年度 子ども読書ボランティアリーダー育成講座（中越地区）

**趣 旨** 子どもの読書活動を推進するため、読み聞かせ等のボランティアの更なる質の向上を目指して講座を開催し、地域におけるリーダーの育成とネットワークの構築を図る。

**実施主体** 新潟県教育庁生涯学習推進課・中越教育事務所

**参加対象** 読書ボランティア活動経験者、読書ボランティアグループや団体の会員

**参加者数** 35人（講師1人、受講者34人 ※募集定員は30人程度）

**回 数** 4回 **日 数** 4日 **時 間** 各回2時間

**場 所** 長岡市立中央図書館 講座室1

### 内 容

回	期日・時間	テ ー マ	講 師
1	11月7日（土） 10:00～12:00	お話はこころの畑の種まき - 子どもと文学 -	野の花文庫代表 新潟大学名誉教授 真壁伍郎氏（新潟市）
	内容・方法	子ども時代の過ごし方の重要性や絵本が果たす役割、子どもの美への感覚及びことばを育てることの大切さ等についての講義。（資料：石井桃子の「幼児のためのお話 - 個人的な回想にふれて」や紹介DVD、神谷美恵子「こころの旅」、絵本、詩等） しつとりと本を味わう環境を整えることの重要性や効果の紹介。 （例示：NIC木戸えほん館や県立図書館こども読書室） 【参加27人】	
2	11月14日（土） 10:00～12:00	お話の世界の広がり - お話と絵本で見る世界 -	野の花文庫代表 新潟大学名誉教授 真壁伍郎氏（新潟市）
	内容・方法	ことばの響きや美しさ、ことばがけや語りかけの大切さ等についての講義。（資料：「よい詩ってどんな詩」「子どもの心をはぐくむ - てぶくろの話」等） 子どもの目線に立った読み聞かせについての講義。子どもの心育てる心構え、長年読み継がれている本、季節に合った本、大人の好みを押し付けない等、よい本を選ぶ眼と伝える技能。 リスト「こんな本はいかが？」の紹介。 【参加28人】	
3	11月28日（土） 10:00～12:00	ブックトークの魅力 （ブックトークの説明、実演、組み立て方）	元 三条市立図書館司書 長谷川優子氏（三条市）
	内容・方法	資料「やってみましょうブックトーク」を用いて、ブックトークの定義や意義、実施までの準備や手順、事後の紹介や整理、記録等についての講義。 高学年プログラム「数の本」（6冊）の実演。 ブックトーク関連書籍（解説、事例集）の紹介。 次回グループ活動の説明と役割分担等の相談。次回までに紹介文作成。 【参加26人】	
4	12月5日（土） 10:00～12:00	ブックトーク実習 （グループに分かれて組み立て、発表）	元 三条市立図書館司書 長谷川優子氏（三条市）
	内容・方法	グループ内で、一人ずつ紹介文をもとに持参した本の紹介。 グループ内で、プログラムの組み立てを相談し、原稿を作成。 グループごとに、代表者1名が前に出て、全員の前でブックトークの発表。 （10分×4グループ） 講師から、グループごと及び全体への講評と助言。 【参加24人】	

**成 果**

- 前半の2回は、講義中心。読み聞かせのスキルでなく、子どものことばを育て、心を育てるために本がいかに関係重要であるか等、深いお話に感動したという反応が多かった。
- 後半の2回は、実習中心。ブックトーク未経験の受講者が多く、本と出会う一つの手段を学ぶことができた。協議を通しての交流が楽しかったという声も聞かれた。
- 感想を毎回記入してもらうことで、反応を集約することができた。講師にも送付した。

**課 題** 実習は、時間不足であわただしい印象だった。余裕のある時間設定が必要である。

**問合せ先** 新潟県教育庁中越教育事務所社会教育課（担当：植木志郎）

〒940-8554長岡市四郎丸町173-2

Tel.0258(38)2652 Fax0258(38)2682 E-mail:nigt501020@pref.niigata.lg.jp

**事業名** 平成21年度子ども読書活動推進事業  
読書ボランティアリーダー育成講座（下越地区）

**趣 旨** (1) 子ども読書ボランティアリーダーの資質向上  
(2) 子ども読書ボランティアリーダーのネットワークの構築及び子ども読書活動の充実

**実施主体** 新潟県教育委員会（主管：下越教育事務所）  
**参加対象** 子ども読書ボランティアの経験があり、次の2つの条件を満たす人  
・2年以上の活動経験のある人  
・10回以上の読み聞かせ経験のある人

**参加者数** 26名  
**回数** 4回 **日数** 4日 **時間** 9時間  
**場所** 新潟県立生涯学習推進センター

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	10月6日（火） 10:00～12:00	読書ボランティアのイメージを創る	センス・オブ・ワンダー 主宰 中山佳奈恵
	内容・方法	○講義 ・読書ボランティアの現状と課題 ・相手の立場を理解・尊重し、協働する ○「振り返りシート」の記入 ・学校図書館、地域の図書館を知る ・主役は子ども等	
2	10月20日（火） 10:00～12:00	課題プログラムの検討会1	センス・オブ・ワンダー 主宰 中山佳奈恵
	内容・方法	○講師の読み聞かせと受講生の話し合い ・絵本を比較する ・わらべうたと一緒に ・赤ちゃんは顔が大好き ○「振り返りシート」の記入 ・絵本以前の語りかけ ・言葉の響きを楽しむ ・おいしいね等	
3	10月29日（木） 10:00～12:00	課題プログラムの検討会2	センス・オブ・ワンダー 主宰 中山佳奈恵
	内容・方法	○講師の読み聞かせと受講生の話し合い ・年齢、学年、集団の規模、時間等に応じた絵本の読み聞かせ等 ○「振り返りシート」の記入	
4	11月3日（火） 9:30～12:30	課題プログラムの検討会3	センス・オブ・ワンダー 主宰 中山佳奈恵
	内容・方法	○講師の読み聞かせと受講生の話し合い ・昔話、ファンタジー、時(とき)の問題、遠目のきくものきかないもの、うたのあるものなどの絵本の読み聞かせ等 ○「振り返りシート」の記入	

**成 果** ・受講生は、ボランティア活動を行う学校や地域の図書館の立場を理解・尊重し、協働することの大切さを理解することができた。  
・受講生は、普段行っている読み聞かせ（プログラム）について、講師の助言や参加者の意見を聞いて、継続すべき点や改善すべき点を再確認できた。

**課 題** ・講師も受講生も大変熱心であり、4回（1回が2時間）の枠内では、十分な検討を行うには時間不足であった。日程・時間配分の工夫が必要である。

**問合せ先** 新潟県教育庁下越教育事務所 社会教育課（担当 板垣副参事）  
TEL:025-231-8361

**事業名** 平成21年度 子ども読書ボランティアリーダー育成講座（佐渡地区）

**趣 旨** 子どもの読書活動を推進するため、読書ボランティアの更なる質の向上を目指して講座等を開催し、地域におけるリーダーの育成とネットワークの構築を図る。

**参加対象** 読み聞かせ等の子ども読書ボランティア活動に参加した経験のある人  
（子ども読書ボランティア活動に参加予定の人を含む）

**参加者数** 1回 35人 2回 31人 3回 34人 4回 35人

**回数** 4回 **日数** 4日 **時間** 各2時間

**場所** 佐渡市立中央図書館

**内容**

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	11月 7日（土） 13：30～15：30	おはなし 物語の始まり : わらべうた : 昔話	野いちご文庫 伊藤 美智子 氏
	内容・ 方法	『赤ちゃんの成長本能は、ひたすら気持ちの良さ、身体で知る安定した刺激に応じて植物の芽立ちのように外側に開きます。』子どもの本評論集一絵本論一より。赤ちゃんにとって心地よいもの、ことばの成長に欠かせないものとして「わらべうた」の実技とおはなし物語のはじまりについての講義。	
2	11月14日（土） 13：00～15：00	“おはなし 物語”のおもしろさを深める 絵本と出会う	野いちご文庫代表 元沼垂図書館長 若佐 久美子氏
	内容・ 方法	1) 絵本とは何か？ 2) 子どもにとって良い絵本・おはなし物語とは？そして、子どもは、どう絵本と出会うのか。物語に多い動物物語の紹介や擬人化としての幼年物語の土台を作ったピアトリクス・ポターとアリソン・アトリーの違いの講義。	
3	11月28日（土） 13：00～15：00	“おはなし 物語”のおもしろさを深める おはなし 物語で知る子どもたちの日常	野いちご文庫代表 若佐 久美子氏
	内容・ 方法	子どもの日常生活を描く物語や子どもの成長を見せてくれる絵本についての講義。マックロスキーや北欧の絵本作家リンドグレーンの世界に誘われ、絵本のもつ面白さをたっぷり聴く。	
4	12月 5日（土） 13：00～15：00	想像をひろげるおはなし 物語たち（ファンタジーの物語）	野いちご文庫代表 若佐 久美子氏
	内容・ 方法	ファンタジーとは何か？ファンタジーの3つのパターンについて、日本のファンタジーなぜファンタジーは生まれたかなど、ファンタジーについての講義	

**成 果** ・ 昨年に引き続き若佐久美子氏、伊藤美智子氏に講義をしていただき、物語の世界に誘われ、お話しを聴く楽しみをたっぷり味わうことができた。どのような物語が子どもの心を揺さぶるのか、幼いときから良い絵本・良い物語と出会うことの大切さについて、身をもって感じとる事ができた。

**課 題** ・ 開催時期が11月～12月となったため、講義終了後の講師への質問の時間が設定できなかった。また参加者同士が互いに情報交換しながら、力量を高め合う機会が取れなかったことが残念であった。

**問合せ先** 佐渡市立中央図書館（担当 渡辺 日出子）  
TEL：0259-63-2800 FAX：0259-63-2552

## 事業名 小・中・特別支援学校PTA指導者研修会

**趣 旨** 心身ともに健全な児童生徒の育成に向けて、PTA活動に関する研修を行い、PTA活動の活性化を図る指導者としての資質向上をめざす

**実施主体** 新潟県教育委員会

**参加対象** 小学校、中学校、特別支援学校PTAの役員及び教職員会員

**参加者数** 186名

**回 数** 1 回                      **日 数** 1 日                      **時 間** 4 時間

**場 所** 上越市市民プラザ

### 内 容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	6月16日(水) 12:50～16:50	「主体的に学び行動するPTAをめざして」 ～地域と連携した学校支援活動とPTA～	上越市立柿崎小学校PTA会長 八木 和弘 上越市立城北中学校区子どもを育てる会 地域コーディネーター 飯塚 春枝 新潟市立坂井東小学校 地域教育コーディネーター 郷 扶二子
	内容・方法	(1) 開会式 ・開会の挨拶 上越教育事務所長 吉越 勉 ・趣旨説明 県教育庁生涯学習推進課担当者 須貝 育子  (2) 事例発表 ①柿崎小学校PTAの取組 八木 和弘 ②城北中学校区子どもを育てる会の活動 飯塚 春枝 ③地域と学校パートナーシップ事業の取組 郷 扶二子  (3) 分科会 ・サブテーマに沿って、小学校部会、中学校部会に分かれて小グループで実施  (4) 閉会式	

**成 果**

- ・ 小学校PTA活動紹介、小・中学校の連携及びPTA・地域と連携した取組紹介、地域と学校パートナーシップ事業の取組紹介と発表内容がバラエティに富み、参加者は興味深く聞き入り、コーディネーターの重要性を確認することができた。
- ・ 「地域と連携した学校支援活動とPTA活動の在り方」という、新しい視点が提案され、参加者は刺激を受けていた。分科会でも、学校支援活動の在り方について意見交換がなされていた。

**課 題**

- ・ 男性の参加者が多かったことが、今回のPTA指導者研修会の特徴の一つである。各PTA活動に意欲的に取り組む男性が増え、PTA活動が活性化することが望まれる。そのためにも、本研修会の内容をより一層吟味していく。

**問合せ先** 新潟県教育庁上越教育事務所社会教育課  
〒943-8551 上越市本城町5-6 TEL 025-526-9377 FAX 025-523-7542  
E-mail ngt501010@pref.niigata.lg.jp

**事業名** 平成21年度 学習プログラム学び合い研修会

**趣 旨** 管内3市の実態や行政課題に基づいて行われている生涯学習・社会教育事業を3市の行政担当者が持ち寄り、お互いに学び合うことを通して、学習プログラムへの理解を図り、各市の学習活動の充実並びに上越地域の生涯学習・社会教育の充実に資する。

**実施主体** 主催：上越教育事務所 共催：上越管内3市教育委員会

**参加対象** 上越管内3市生涯学習担当職員、上越教育事務所社会教育課職員

**参加者数** 11人（第1回研修会）

**回 数** 12回 **日 数** 12日 **時 間** 各回2～4時間

**場 所** 上越教育事務所303会議室、3市事業実施会場

**内 容**

回	期日・時間	テーマ	講師等
事業紹介	4月24日（金） 15:20～17:15	事業を紹介し合い、事業の企画立案を学び合う	
	内容・方法	事業紹介 ※事前に提出された5件の事業紹介シートについて、各市担当者が1事業ずつの内容を紹介 ※主な紹介事業：（上越市）・・・謙信KIDSスクールプロジェクト、地域青少年育成会議（糸魚川市）・・・ワクワク探検隊、子育てサポーター研修会、日本語セミナー（妙高市）・・・「妙高市民の心」推進事業、子縁活動人材制度 事業学び合い 担当者が紹介した事業内容について、参加者が質疑応答を行い、理解を深めた。	
事業参観	期日・時間	テーマ	講師等
	事業参観日数 12日	事業を参観し、よさを学ぶ	
内容・方法	事業参観 ※担当者会で紹介された事業を中心に事業参観 ※事業参観後、メール等で事業参観の感想等を担当者に送付 ※参観事業：（上越市）・・・謙信KIDSスクールプロジェクト、地域青少年育成会議 ※「レルヒの楽校」「森の楽校」「海の楽校」「食の楽校」（糸魚川市）・・・紅葉観察、ふるさと楽習塾、ワクワク探検隊（妙高市）・・・「妙高市民の心」推進大会 等		

**成 果**

- ・ 事業紹介シートや事業紹介等から3市で取り組んでいる事業のねらいや特色などを理解し合うことができた。また、意見交換を通して、事業運営上の活用できる内容を学ぶことができた。
- ・ 事業を見た後で、事業担当者と感想や意見交換をする場を作った。このことにより事業の目的も具体的に把握できた。また、これらの過程を大切にすることで、事業の意義や課題について深まりがもてた。

**課 題**

- ・ 事業の紹介を行った第1回研修会には、3市の担当者の参加があった。実際の事業については、新型インフルエンザ等の対応のため予定通り実施できないことが多く、事業参観については限られた回数となってしまった。互いの資質の向上のためにも参加への働きかけを積極的に行ったり、事業の実際を紹介したりするなど、手立ての改善を図っていきたい。

**問合せ先** 新潟県教育庁上越教育事務所社会教育課  
〒943-8551 上越市本城町5-6 TEL 025-526-9377 FAX 025-523-7542  
E-mail ngt501010@pref.niigata.lg.jp

**事業名** 平成21年度 社会同和教育市町村巡回研修会**趣 旨** 県民の同和問題及び社会同和教育の正しい理解を深め、実践を促すため、広く県内市町村を巡回して研修を行う。**実施主体** 主催：新潟県教育委員会（主管：上越教育事務所）共催：上越管内3市教育委員会**参加対象** 教育委員会職員等教育行政関係者、社会教育委員、公民館運営審議会委員  
小・中・高・中等教育・特別支援学校関係職員、PTA関係者、社会教育関係団体  
人権擁護委員、民生委員（児童委員）、社会福祉行政関係者 等**参加者数** 103 人**回 数** 1 回 **日 数** 1 日 **時 間** 5.5時間**場 所** 上越市市民プラザ（上越市土橋1914-3）**内 容**

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	9月18日(木) 10:00～16:30	「同和問題解消に向けて」 ～今、私にできること～	講師：中村 忠雄
	内容・方法	(1)開会式 ・開会のあいさつ ・上越市教育委員会教育長 (2)社会同和教育の推進 ・県教育庁生涯学習推進課 成人教育係主任 (3)講義「険しい道は平らに ～身近な部落問題と共感～」 ・上越市白山会館運営委員会委員 中村 忠雄 (4)ビデオフォーラム ◇「峠を越えて」「私の歩んだ道」視聴 ◇グループ協議 様々な立場から意見交換ができるグループ編成を行い、講義とVTRの内容をもとに、各自が「今、わたしにできること」という視点から協議を行った。 ○グループ協議の発表 グループ協議の内容を発表し合い、協議内容を共通理解した。 (5)閉会式 ◇講評 ・県教育庁生涯学習推進課 成人教育係主任 ◇閉会のあいさつ	

**成 果**

- ・ 講義は「険しい道は平らに ～身近な部落問題と共感～」と題し、身近な部落差別問題と人権について具体例を交えた分かりやすい内容であった。「部落解放とは、被差別部落を解放することではなく、被差別部落の外にある地域住民が偏見をもっている事実を解放しない限り、真の部落解放はあり得ない」という話は、参加者に感銘を与えた。
- ・ ビデオフォーラムでは、ビデオ2本「峠を越えて」「私の歩んだ道」の視聴を通して差別の実態を映像を通して学んだ。特に、結婚差別の実態に驚く一方で、差別に負けず前向きに生きることを教える教師とそれを受け止める生徒。また、差別に屈せず共に歩んできた夫婦とその家族の姿に共感し、部落差別の厳しさと不合理さを実感した。

**課 題**

- ・ 今回は人権擁護委員、社会教育委員等の参加が少なかった。それら関係者への参加を強く促すと同時に、多くの保護者からも参加してもらえようようにしたい。あわせて、担当者として研修会の中味を吟味し、次年度以降、魅力のある研修会を開催するとともに広報活動を工夫していきたい。

**問合せ先** 新潟県教育庁上越教育事務所社会教育課  
〒943-8551 上越市本城町5-6 TEL 025-526-9377 FAX 025-523-7542  
E-mail ngt501010@pref.niigata.lg.jp

**事業名** 団塊世代等社会参加促進モデル事業  
**上越市** 学校支援ボランティア、地域コーディネーター養成  
**糸魚川市** 日本語ボランティア講師養成  
**妙高市** 青少年活動支援ボランティア養成

**趣 旨** 上越市 学校支援活動に対する理解を深め、体験を通して学校支援ボランティアを養成する。そして、課題解決や連絡調整、合意形成などの「ファシリテーション」の技術を学び、地域コーディネーターを養成する。  
 糸魚川市 日本語教育に関する専門の知識・技能を学び、日本語教室のボランティア講師を養成する。  
 妙高市 青少年活動やボランティア活動の基礎を学び、自らの知識や経験を子どもたちに伝える喜びや生きがいについて考え、青少年活動支援ボランティアを養成する。

**実施主体** 上越管内3市教育委員会、新潟県教育委員会

**参加対象** 管内3市在住で、各市の事業に興味のある団塊世代及び高齢者

**参加者数** 上越市：12人 糸魚川市：10人 妙高市：13人

**回 数** 6回～8回 **日 数** 6日～7日間 **時 間** 約2時間

**場 所** 上越市：上越市教育プラザ  
 糸魚川市：ビーチホールまがたま、大和川地区公民館  
 妙高市：妙高市勤労者研修センター、わくわくランドあらい

**内 容**

1 ボランティア養成講座 <上越市> 学校支援ボランティア、地域コーディネーター養成

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	10月9日(金) 15:00～17:10	子どもたちの現状とボランティア活動	上越市学校教育課副課長 くびき野NPOサポートセンター
	内容・方法	講義「上越市の子どもたち」、講義「ボランティアについて」	
2	10月16日(金) 15:00～17:20	次世代育成・学校づくり・まち育ては三位一体で	千葉県習志野市 秋津コミュニティ顧問 岸 裕司
	内容・方法	講演会	
3	10月23日(金) 15:00～17:05	ファシリテーション技法を学ぶ①	F&Cヨシザキ代表取締役 吉崎利生
	内容・方法	講義と演習「参加型会議の進め方」	

<糸魚川市> 日本語ボランティア講師養成

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	5月22日(金) 9:30～11:30	日本語学習の実態	上越国際交流協会理事長 川室 京子
	内容・方法	開講式、講義「外国人事情、糸魚川地域の現状、日本語教師の心構え」	
2	5月29日(金) 9:30～11:30	日本語を教える際の注意点、方法①	上越国際交流協会理事長 川室 京子
	内容・方法	講義と演習「日本語の教授法 文法、数字、漢字」	
3	6月5日(金) 9:30～11:30	日本語を教える際の注意点、方法②	上越国際交流協会理事長 川室 京子
	内容・方法	講義と演習「日本語の教授法 文法、敬語、尊敬語、謙譲語」	
4	6月12日(金) 9:30～11:30	日本語を教える際の注意点、方法③	上越国際交流協会理事長 川室 京子
	内容・方法	講義と演習「日本語の教授法 文法のまとめ」	
5	6月19日(金) 9:30～11:30	日本語ボランティア講師との懇談会 日本語教室見学	上越国際交流協会理事長 川室 京子
	内容・方法	懇談会と見学	

<妙高市> 青少年活動支援ボランティア養成

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	7月23日(木) 13:30～15:30	ボランティア基礎講座 「地域支え合いの仕組みづくり」	「うちの実家」代表 河田 瑠子
	内容・方法	開講式、講演会	

2	7月25日(土) 14:30～15:30	「子どもと接するポイント」基礎講座	妙高市教育委員会教育長
	内容・方法	講義・ワークショップ	
3	7月25日(土) 15:30～16:30	わくわくランドあらい施設見学	わくわくランドあらい 事務局長 関谷 昇
	内容・方法	講話と施設見学	
4	7月26日(日) 10:00～15:00	ボランティア体験	わくわくランドあらい協力指導員
	内容・方法	イベント「科学祭典」ボランティア参加	
5	7月28日(火) 13:30～15:30	青少年に対するボランティア活動を考える	ファシリテーター 吉崎 利生
	内容・方法	講義と演習 ※コーディネーター養成講座を兼ねる	

## 2 コーディネーター養成講座 <上越市>

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	10月29日(木) 15:00～18:00	ファシリテーション技法を学ぶ ②	F & C ヨシザキ代表取締役 吉崎利生
	内容・方法	講義と演習「ファシリテーショングラフィック（会議の見える化）」	
2	11月6日(金) 15:00～18:00	ファシリテーション技法を学ぶ ③	F & C ヨシザキ代表取締役 吉崎利生
	内容・方法	講義と演習「ファシリテーションのまとめ」「フォーラムの企画」 ※糸魚川市は実施しない。	

## 3 地域活動 <上越市>

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	11月22日(日) 9:00～12:20	ファシリテーターデビュー 地域コーディネーター・フォーラム	F & C ヨシザキ代表取締役 吉崎利生
	内容・方法	市民と共に、「学校と保護者」「保護者と地域」「地域と学校」の3つのテーマについて、意見出し合い協議を行った。	

### <糸魚川市>

回	期日・時間	テーマ
1	6月下旬～ 2月上旬	日本語教室の講師
	内容・方法	日本語教室のアシスタント及び講師活動
2	11月1日(日) 9:30～15:30	インドネシアの料理と踊り
	内容・方法	国際交流イベント

### <妙高市>

回	期日・時間	テーマ
1	12月20日(日)	クリスマスツリーづくり（午前）、クリスマスキャンドルづくり（午後）
	内容・方法	新規にボランティア登録した受講者の企画による事業
2	12月25日(金)	そば打ち（午前）、門松づくり（午後）
	内容・方法	受講者が指導員となり、子どもたちの指導に当たる。

## 成 果

養成すべきボランティア像を明確してのボランティア養成、コーディネーター養成、その後の地域活動により、受講者は、常に目的意識をもって本講座に臨んでいた。6名と少人数だが、新規にボランティア登録して活動を開始している。

また、本講座は、受講者にとって新たな知識や経験を得る機会となり、人的ネットワークづくりや自身のこれまでのボランティア活動を見直す一助となった。

## 課 題

3市での本講座への参加者が少なかった。チラシを作成して参加募集を行ったのは1市のみであり、市の広報誌だのみであった。今後は、内容や開催時期を検討した上で、町内会や関係団体等への呼びかけを中心に広報活動を充実させる。

また、受講者の社会参加数は少なかった。その方々を大事にし、各市において支え人の輪を広げる努力を促す。

## 問合せ先

新潟県教育庁上越教育事務所社会教育課

〒943-8551 上越市本城町5-6 TEL 025-526-9377 FAX 025-523-7542

E-mail ngt501010@pref.niigata.lg.jp

**事業名** 平成21年度 小・中・特別支援学校PTA指導者研修会

**目的** 心身ともに健全な児童生徒を育成するPTA活動の活性化を図るため、PTA役員等が集まり、子育て、PTA活動について、情報を交換し合い、PTA指導者としての資質の向上を目指す。

**実施主体** 主催：新潟県教育委員会（主管：中越教育事務所）共催：魚沼市教育委員会、刈羽村教育委員会

**参加対象** 小学校、中学校、特別支援学校PTAの役員及び教職員会員

**参加者数** 346名

**回数** 2回 **日数** 2日 **時間** 11時間20分

**場所** 魚沼市中央公民館(6/12)、刈羽村生涯学習推進センターラピカ(7/3)

**内容**

回	期日・時間	テーマ	講師等																
1	6月12日（金） 10：00～15：40	主体的に学び、行動するPTAを目指して	講師：長岡地域振興局健康福祉 環境部 児童・障害者相 談センター長 岩渕 嘉一 様 ファシリテーター 県生涯学習関係職員6名																
	7月3日（金） 10：00～15：40																		
1	<p>○日程</p> <table border="1"> <tr> <td>9:30</td> <td>10:00</td> <td>10:15</td> <td>11:20</td> <td>12:00</td> <td>13:00</td> <td>15:30</td> <td>15:40</td> </tr> <tr> <td>受付</td> <td>開 会</td> <td>講 義</td> <td>研究協議1 グループ協議</td> <td>昼 食</td> <td>研究協議2 グループ協議</td> <td>閉 会</td> <td></td> </tr> </table> <p>○講義題 「児童相談所から見える今日の青少年像」 ○研究協議 「参加者によるグループ協議」（6分散会＝約30班＝各グループ6名程度）</p>			9:30	10:00	10:15	11:20	12:00	13:00	15:30	15:40	受付	開 会	講 義	研究協議1 グループ協議	昼 食	研究協議2 グループ協議	閉 会	
9:30	10:00	10:15	11:20	12:00	13:00	15:30	15:40												
受付	開 会	講 義	研究協議1 グループ協議	昼 食	研究協議2 グループ協議	閉 会													

**成果** 中越地区の各学校PTAから1名以上の参加を要請し、殆どの学校PTA(93.0%)の参加が得られるようになった。同種同規模でのグループワークをとおして貴重な情報交換の場となっており、参加者の多くが有意義な研修会だとアンケートに答えている。

会場	参加者(人)(H20)	校種	参加対象校数	参加校数	参加校率(%)	参加者(人)
魚沼市	151人(162)	小学校	222(231)	208(204)	93.7(88.3)	234(252)
刈羽村	195人(202)	中学校・特別支援等	107(108)	98(93)	91.6(86.1)	112(112)
計	346人(364)	計	329(339)	306(297)	93.0(87.6)	346(364)

**課題** 平成20年度から講義内容を「PTA活動そのもの」から「子育て」「親業」「青少年の理解」などへ移行した。今年度は、児童相談所からの視点で児童虐待について実例を紹介してもらった。参加者にとって有意義な講義であったが、そのことについて話し合うことができなかった。次年度は、講義について話し合う時間を設定する方向で日程について改善を図る。

**問合せ先** 新潟県教育庁中越教育事務所社会教育課（担当 渡辺善則）  
TEL：0258-38-2652

**事業名** 平成21年度 社会同和教育市町村巡回研修会

**趣 旨** 社会教育の現代的課題である社会同和教育に関する研修を地域の実態に即しながら実施し、社会教育施設利用者等への人権教育、同和教育の啓発を行う。

**実施主体** 主催：新潟県教育委員会（主管：中越教育事務所）  
共催：三条市、三条市教育委員会、加茂市教育委員会、田上町教育委員会

**参加対象** 三条市・加茂市・田上町の社会教育施設利用者、社会教育行政職員、社会教育団体関係者、PTA・学校教育関係者

**参加者数** 78名

**回 数** 1回 **日 数** 1日 **時 間** 5時間30分

**場 所** 三条市中央公民館

**内 容**

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	6月30日(火) 10:00～15:30	人権教育・同和教育の啓発	部落解放同盟新潟県連合会 書記長 長谷川 均 氏
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 説明「県教育委員会の社会同和教育の取組について」 県生涯学習推進課担当より</li> <li>○ 講義「新潟県内の部落差別の実態と同和行政、教育の課題」</li> <li>○ グループ別研修 <ul style="list-style-type: none"> <li>A；同和教育ビデオ「琴美の決意」の視聴をもとにしたワークショップ</li> <li>B；「人権教育促進ハンドブック」によるワークショップ</li> <li>C；他県の事例をもとにしたワークショップ</li> </ul> </li> <li>○ 全体会「グループ別研修の内容発表」</li> </ul>	

**成 果** ・ 社会教育委員、公民館関係、教育委員、民生委員、児童委員、人権擁護委員、PTA・学校教育関係者、行政職員等幅広い範囲の方から参加いただいた。講師の講義も実例に則した内容で好評であった。グループに分かれてのワークショップでは、様々な方々の意見交換もできた。研修が深まり、人権教育、同和教育の啓発に大きな効果があった。

**課 題** ・ 管内の市町村が主催している社会同和教育研修会は極めて少ない。社会教育関係者の意識を高めるためにも、実施回数や参加者数を増やしていく等の取組が必要である。義務教育課の事業等とも連携を図っていきたい。

**問合せ先** 新潟県教育庁中越教育事務所社会教育課（担当：藤 田 豊 明）  
TEL 0258-38-2652 FAX 0258-38-2682

**事業名** 団塊世代等社会参加促進モデル事業  
 (市民観光ガイドボランティア養成、諸橋轍次記念館施設ボランティア養成、  
 ITリーダー養成、地域コーディネーター養成)

**趣 旨** 団塊世代や高齢者の知識・経験を社会参加活動に生かすことにより、生き生きとした高齢者を増やすとともに地域の活性化を促進する。

**実施主体** 新潟県教育庁中越教育事務所、三条市市民部生涯学習課

**参加対象** 三条市内在住の団塊の世代を中心とした中高年者

**参加者数、回数、日数、時間、場所**

講座	参加者数	回数	日数	時間	場所
市民観光ガイドボランティア養成	42名	5回	5日	16時間	三条市中央公民館他
諸橋轍次記念館施設ボランティア養成	7名	4回	4日	13時間	諸橋轍次記念館他
ITリーダー養成	10名	3回	3日	9時間	三条市中央公民館
地域コーディネーター養成	15名	4回	4日	9時間	三条市中央公民館他

**内 容**

**○市民観光ガイドボランティア養成**

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	6月9日(火)～ 8月4日(火)	越後のミケランジェロといわれる石川雲蝶について郷土史家からその人物像やエピソードについて学び、実際にその作品を訪ね知識・理解を深めるとともにガイドの手法を学ぶ。	講師 高橋郁子氏、木原 尚氏 丸橋康文氏、 旧栃尾ガイドボランティア
5	内容・方法	① 6/9 座学 (中央公民館 14:00～16:00) 受講者数 30名 石川雲蝶の人となりについて (雲蝶の人柄や活躍) ② 6/23 座学 (中央公民館 14:00～16:00) 受講者数 29名 石川雲蝶の作品について (スライド写真) ③ 7/7 座学 (中央公民館 14:00～16:00) 受講者数 31名 三条と石川雲蝶について (三条での暮らしぶり) ④ 7/21 現地視察 (本成寺、石動神社 13:30～17:00) 受講者数 24名 市のバスで本成寺と石動神社へ住職や堂守に話を聞きながら研修 ⑤ 8/4 現地視察 (9:30～17:15) 受講者数 24名 秋葉神社 (長岡市)、貴渡神社 (長岡市)、永林寺 (魚沼市)、西福寺開山堂 (魚沼市)	
地域活動		・石川雲蝶ガイドツアー開催 主催：本成寺 実施日：10/24 (土)、11/14 (土)、11/21 (土) (3回) 時間：14:00～15:30 一般参加者：10/24 35名、11/14 80名、11/21 88名 ・本格的なガイド団体としての活動をめざした定例会の開催	参加者数 15名

**○諸橋轍次記念館施設ボランティア養成**

回	期日・時間	テーマ	講師等
1 4 回	6月20日(土) ～7月11日(土)	諸橋轍次記念館において、記念館事業のサポートや来館者への簡単な案内ができる者を養成し、生涯学習ボランティアとして活用を図る。また、現在ボランティアとして活動している者にも参加を促し、レベルアップと活動の幅を広げる。	講師 目黒 悌一氏 星野 一良氏 磯部友記雄氏

内容・方法	① 6/20 開講式（諸橋轍次記念館 9:30～11:30） 講義、館内見学、マルチスライド視聴 ② 6/27（諸橋轍次記念館 9:30～11:30） 講義、展示室にて博士の遺品、遺墨等、展示品の開設、生家見学 ③ 7/4 閉講式（諸橋轍次記念館 9:30～11:30） 講義、受講生の解説実習 ④ 7/11 施設見学 9:30～17:00 河井継之助記念館（長岡市）、山本五十六記念館（長岡市）、天領の里（出雲崎町）
地域活動	・定例会開催（月1回） ・諸橋轍次博士とその一族遺墨展ガイド 実施日：10/3（土）～10/25（土）10/31（土）～11/14（土） 参加者5名

### ○ITリーダー養成

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	7月18日（土）～8月1日（土）	公民館パソコン教室の補助講師としてのパソコンの指導技術を身につける。	講師 宗村 憲氏、藤川成康氏
3	内容・方法	① 7/18（中央公民館 9:00～12:00） 座学による指導ポイント学習 ② 7/25（中央公民館 9:00～12:00） 個人演習 ③ 8/1（中央公民館 9:00～12:00） グループ演習、テクニカル講座	
地域活動	・月定例会の開催 ・パソコン講習講師協力等 10/14 10/21 10/22 10/23 10/28 他 公民館主催のパソコン講習会において、ボランティア講師として指導にあたる。 ・テキスト、各種素材提供 参加者10名		

### ○地域コーディネーター養成

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	6月27日（土）～12月12日（土）	団塊世代等のコーディネートを高め、地域と学校を結ぶコーディネーターを養成する。	講師 磯部友記雄氏、五十嵐 晃氏 丸山 結香氏、風間 昌平氏
4	内容・方法	① 6/27 開講式（中央公民館 14:00～16:30）受講者数14名 基調講演「私が地域コーディネーターとなって」、「学校と地域の関わりについて」 ② 8/25（16:00～17:30、19:30～21:00）受講者数12名 青少年健全育成のための活動体験（青少年一日補導の日への参画） ③ 9/28（中央公民館 13:20～16:30）受講者数33名 「コーディネーター養成講座」（県主催）へ参加 ④ 12/12 閉講式（三条市役所 14:30～16:30）受講者数24名 受講者体験発表、講演・ワークショップ、閉講式	

**成 果** ・ 4つのコースに「人生の達人、大募集」とチラシで団塊世代等に呼びかけ、74人の受講者を得た。その後地域活動に30名が参加し、自主サークルもできつつある。また地域（情報）コーディネーターも来年度から各中学校区で活動の予定である。

**課 題** ・ 計画の段階で養成講座からどう地域活動や自主サークル活動にもっていくか、事務所担当と市町村担当との十分な打合せが必要である。

**問合せ先** 新潟県教育庁中越教育事務所社会教育課（担当 渡辺）  
 TEL：0258-38-2652  
 三条市市民部生涯学習課（担当 小林）TEL：0265-34-5511

## 事業名 平成21年度 小・中・特別支援学校PTA指導者研修会

**趣 旨** 心身ともに健全な児童生徒の育成に向けて、PTA活動に関する研修を行い、PTA活動の活性化を図る指導者としての資質向上をめざす。

**実施主体** 主催：新潟県教育委員会(主管：下越教育事務所) 共催：開催市教育委員会

**参加対象** 小・中・中等・特別支援学校のPTA役員並びに会員、教職員、行政職員等

**参加者数** 225人

**回 数** 2回 **日 数** 2日 **時 間** 各5時間

**場 所** 1回目：佐渡市トキのむら元気館 2回目：新発田市豊浦地区公民館

### 内 容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	6月19日 5時間	『主体的に学び行動するPTAをめざして』 ～家庭・地域、学校と連携するPTA活動～	燕市児童研修館「こどもの森」館長 関崎 智 弥
	内容・方法	○講演 「PTA再発見！ 親・教師と子どもの心のかけはしづくり」 主な講演内容 ・親子関係を改善して、あたたかく健全な家庭を築くために大切なこと ・親として、教師として「聞く」「話す」「対立を解く」ために大切なこと ○分散会(ワークショップ)「家庭・地域、学校と連携を深めるPTA活動のためには」 主な内容 ・テーマに基づき、9グループでワークショップを行う。最後に代表グループが話し合いの概要を発表する。各グループごとに司会者と記録者を事前指名して進める。	
2	6月26日 5時間	『主体的に学び行動するPTAをめざして』 ～家庭・地域、学校と連携するPTA活動～	燕市児童研修館「こどもの森」館長 関崎 智 弥
	内容・方法	○講演 「PTA再発見！ 親・教師と子どもの心のかけはしづくり」 主な講演内容 ・親子関係を改善して、あたたかく健全な家庭を築くために大切なこと ・親として、教師として「聞く」「話す」「対立を解く」ために大切なこと ○分散会(ワークショップ)「家庭・地域、学校と連携を深めるPTA活動のためには」 主な内容 ・テーマに基づき、9グループでワークショップを行う。最後に代表グループが話し合いの概要を発表する。各グループごとに司会者と記録者を事前指名して進める。	

**成 果** ・ 参加者一人一人の考えや日ごろの実践を引き出し、PTA活動の充実策について意見交換する場となった。また、分散会は参加者の98%から「大変よい・よい」との評価を得た。さらに、講師の講義は親業インストラクターとしての実践や自らの子育て経験をふまえたもので、分散会を行う上で参考になった。

**課 題** ・ 話し合いの成果やワークショップの技法が各学校のPTA活動に生かされることが大切である。また、分散会の時間を今年度は2時間としたが、話し合いの深まりやまとめの時間等を考えた時間配分を検討する必要がある。

**問合せ先** 新潟県教育庁下越教育事務所社会教育課 (担当：宮本 均)  
Tel：025-231-8362

**事業名** 平成21年度社会同和教育市町村巡回研修会**趣 旨** すべての人々の人権が尊重される社会の実現を目指し、広く人々の人権・同和問題に対する正しい理解と認識を深め、問題の解決に資することができるよう啓発を図る。**実施主体** 新潟県教育委員会（主管：下越教育事務所 共催：村上市教育委員会）**参加対象** 教育委員会職員等教育行政関係者、社会教育委員、民生・児童委員、人権擁護委員、学校教育関係者、PTA関係者、地域住民等（村上・岩船地域）**参加者数** 156名**回 数** 1回 **日 数** 1日 **時 間** 4時間30分**場 所** 村上市総合文化会館**内 容**

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	7月15日(水) 10:15～16:00	社会同和教育の課題と今後のあり方について ～差別の現実から学ぶ～	部落解放同盟新潟県連合 会執行委員 高橋 加代子
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 開会式 (10:15～10:30) あいさつ 青山 隆一 (県教育庁下越教育事務所長) 寺社 四男 (村上市教育委員会教育長)</li> <li>○ 講 演 (10:30～12:00) 演題 「『関係ないよ』じゃないよ」 講師 高橋 加代子 (部落解放同盟新潟県連合会執行委員)</li> <li>○ 県所管事項の説明 (13:10～13:40) 西川 昌宏 (県教育庁生涯学習推進課成人教育係主任)</li> <li>○ ビデオ視聴 (13:40～14:15) 題名 「差別っていったい何やねん」 (歩く水平社宣言：川口泰司)</li> <li>○ 研究協議会「分散会」 (14:30～16:00) 6分散会に分かれての協議会</li> </ul>	

**成 果**

- ・ 村上市は、職員研修の一環として人権・同和教育研修を位置付けたため、教育委員会の職員だけでなく、他部局の職員も多数参加し、多くの方々の参加を得て研修会を行うことができた。
- ・ 参加者からは、「人権や同和問題に対する理解や認識を深めることができよ研修会であった」という声が多く聞かれるなど、差別の現実をとおして差別の不当性に気づき、同和教育の重要性を確認することができた。
- ・ 同和問題を身近な問題として受け止め、差別の解消に取り組もうとする意識の醸成が図られた。

**課 題**

- ・ 参加者を募集する際の住民への広報には、対象地域の教育委員会の協力・働き掛けが不可欠であり、事業の趣旨説明を丁寧に行う必要がある。
- ・ 人権・同和教育への取組を独自に行っている市町村は、まだ少数である。差別のない明るい社会を実現するためには、すべての市町村が人権・同和教育への取組を推進するなど人権意識の醸成を図るよう働き掛ける必要がある。

**問合せ先** 新潟県教育庁下越教育事務所 社会教育課 (担当 板垣副参事)  
TEL:025-231-8361

**事業名** 団塊世代等社会参加促進モデル事業  
「子育てサポーター養成講座」(村上市)

**趣 旨** 団塊の世代、高齢者の社会参加意欲を喚起し、その知識・経験を社会参加活動につなげて地域の課題解決を図ることにより、生き生きとした高齢者等を増加させるとともに地域の活性化を促進する。

**実施主体** 新潟県教育委員会、村上市教育委員会

**参加対象** 村上市に在住する団塊世代及びその前後の市民

**参加者数** 14人

**回 数** 6回                      **日 数** 6日                      **時 間** 13時間

**場 所** 村上市教育情報センター他

**内 容**

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	8月26日 2時間	「乳幼児期の特性と親の気持ち」	新潟県立大学 教授 斎藤 裕
	内容・方法	○講義「小さい子をもつお母さんの気持ち」 ～子育て中の親の心理とそのサポートのあり方について～ 主な講義内容(講義資料あり) ・育児不安について ・どうしたら、よりよいサポートができるか ・自分(自己)の生きがいを高める ○演習「乳幼児と接するために」 ○振り返り ・本日の感想等を記入	
2	8月28日 2時間	「子育て支援ってどんなこと」	子育て応援施設 代表 新保 まり子
	内容・方法	○講義「子育て応援施設・ドリームハウス」の取組から 主な講義内容 ・ボランティアの心構え ・母親がドリームハウスに求めたもの ・ボランティアとしてできること ・施設での取組の様子をDVD視聴と説明 ○話し合い「子育て支援に取り組むために」 ○振り返り ・本日の感想等を記入	
3	9月 1日 2時間	技術を高める I 「乳幼児にもっと本に親しませるには」	村上市立図書館 主査 大倉 佳代
	内容・方法	○講義「乳幼児にもっと本に親しませるには」 主に講義内容 ・本の世界は夢いっぱい(乳幼児期の本の効果) ・本に親しませるやり方はこれだ ○演習「本を選んでやってみましょう」 ・ブックトーク、読み聞かせなどをグループ内で各自が実際に行って発表する ○振り返り ・本日の感想等を記入	

	期日・時間	テーマ	講師等
4	9月 4日 2時間	子育て支援、私にできることⅠ「先輩ボランティアから学ぼう」	村上市子育て支援センター 臨時保育士 中島 君代 ボランティア 高橋 愛子
	内容・方法	○上海府子育て支援センターの取組紹介 主な内容 ・遊びの広場の提供や育児講座で、母親が学資やすい環境づくりを行う ・保育士として心がけていることや喜び ○神林子育て支援センターの取組紹介 主な内容 ・信頼関係づくりの大切さ ・ボランティアとして心がけていることや喜び ○振り返り ・本日の感想等を記入	
	期日・時間	テーマ	講師等
5	9月 8日 2時間	技術を高めるⅡ「乳幼児の救急法・いざという時のために」	日本赤十字社新潟県支部 指導員 松野 幸子
	内容・方法	○講義・実習「乳幼児の救急法・いざという時のために」 主な講義内容 ・突然起こる乳幼児の事故と病気 ・乳幼児の事故発生時の対処法 ・演習 ・乳幼児の病気発生時の対処法 ○振り返り ・本日の感想等を記入	
	期日・時間	テーマ	講師等
6	9月10日 3時間	子育て支援、私にできることⅡ「施設見学をとおして学ぼう」	下越教育事務所社会教育課 社会教育主事 宮本 均
	内容・方法	○施設見学 ・山辺里子育て支援センター ・神林子育て支援センター ○ワークショップ「子育て支援、私にできることはこんなこと」 ・振り返りシート(今までの感想)から見えてきたこと ・ボランティアとしてできることは何か ・これからの取り組みを考える ○コーディネーターの決定 ・今後の活動を支えるコーディネーターを参加者の中から決める	

- 成 果**
- ・ 参加者一人一人がこれまでの知識や経験を子育て支援活動に活かしていこうという意識をもたせることができた。
  - ・ 養成講座終了後、コーディネーターが中心となり、村上市内に設置されている子育て支援センターにボランティアとして加わり、活動支援を行っている。

- 課 題**
- ・ 現在、行っている子育て支援活動を今後も継続するために、ボランティア活動を行う新たな人材を集め、養成することが課題である。また、子育て支援センターを管理している市社会福祉課との連携促進も課題である。
  - ・ 養成講座を実施する際、事業担当者（企画者）と講師や事例発表者との綿密な打ち合わせが必要である。
  - ・ 実施市町村の理解と協力が不可欠である。

**問合せ先** 新潟県教育庁下越教育事務所社会教育課(担当：宮本 均)  
Tel：025-231-8362

**事業名** 団塊世代等社会参加促進モデル事業  
「子育てサポーター養成講座」(五泉市)

**趣 旨** 団塊の世代、高齢者の社会参加意欲を喚起し、その知識・経験を社会参加活動につなげて地域の課題解決を図ることにより、生き生きとした高齢者等を増加させるとともに地域の活性化を促進する。

**実施主体** 新潟県教育委員会、五泉市教育委員会

**参加対象** 五泉市に在住する団塊世代及びその前後の市民

**参加者数** 23人

**回 数** 6回                      **日 数** 6日                      **時 間** 12時間

**場 所** 五泉市福祉会館他

**内 容**

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	7月28日 2時間	「乳幼児期の特性と親の気持ち」	新潟県立大学 教授 斎藤 裕
	内容・方法	○講義「小さい子をもつお母さんの気持ち」 ～子育て中の親の心理とそのサポートのあり方について～ 主な講義内容(講義資料あり) ・育児不安について ・どうしたら、よりよいサポートができるか ・自分(自己)の生きがいを高める ○演習「乳幼児と接するために」 ○振り返り ・本日の感想等を記入	
2	期日・時間	テーマ	講師等
	7月30日 2時間	「子育て支援ってどんなこと」	子育て応援施設 代表 新保 まり子
内容・方法	○講義「子育て応援施設・ドリームハウス」の取組から 主な講義内容 ・ボランティアの心構え ・母親がドリームハウスに求めたもの ・ボランティアとしてできること ・施設での取組の様子をDVD視聴と説明 ○話し合い「子育て支援に取り組むために」 ○振り返り ・本日の感想等を記入		
3	期日・時間	テーマ	講師等
	8月 3日 2時間	技術を高める「乳幼児にもっと本に親しませるには」	五泉市立図書館 係長 田巻 眞美子
内容・方法	○講義「乳幼児にもっと本に親しませるには」 主に講義内容 ・本の世界は夢いっぱい(乳幼児期の本の効果) ・本に親しませるやり方はこれだ ○演習「本を選んでやってみましょう」 ・ブックトーク、読み聞かせなどをグループ内で各自が実際に行って発表する ○振り返り ・本日の感想等を記入		

	期日・時間	テーマ	講師等
4	8月 6日 2時間	施設見学Ⅰ「子どもと親しよう」(すみれ保育園訪問)	五泉市すみれ保育園 園長 赤城 満里子
	内容・方法	○講義「近年の乳幼児と親について」 主な講義内容 ・近年の乳幼児と親について感じる事 ・保育園内の見学と説明 ○演習「保育園年長児と接してみよう」 ・折り紙や絵本、じゃんけんなどを使って ○振り返り ・本日の感想等を記入	
	期日・時間	テーマ	講師等
5	8月 8日 2時間	施設見学Ⅱ「施設見学をとおして、かかわり方を学ぼう」(ドリームハウス訪問)	子育て応援施設 代表 新保 まり子
	内容・方法	○講義「子育て応援施設の運営について」 主な講義内容 ・施設の運営について ・親への対応と乳幼児の安全について ○施設見学 ・かかわり方などについて、ボランティアの方と意見交換 ○振り返り ・本日の感想等を記入	
	期日・時間	テーマ	講師等
6	8月10日 2時間	「子育て支援、私にできることはこんなこと」	下越教育事務所社会教育課 社会教育主事 宮本 均
	内容・方法	○ワークショップ「子育て支援、私にできることはこんなこと」 主な内容 ・振り返りシート(今までの感想)から見えてきたこと ・ボランティアとしてできることは何か ・これからの取り組みを考える ○コーディネーターの決定 ・今後の活動を支えるコーディネーターを参加者の中から決める	

- 成 果**
- ・ 参加者一人一人がこれまでの経験や知識を子育て支援活動に生かしていこうという意識をもたせることができた。
  - ・ 養成講座終了後、コーディネーターが中心となり、五泉市内の乳幼児をもつ親の会と連絡調整を図り、月2回(第1, 3水曜日)の子育て支援活動を行っている。

- 課 題**
- ・ 現在、行っている子育て支援活動を今後も継続するために、ボランティア活動を行う新たな人材を集め、養成することが課題である。
  - ・ 養成講座を実施する際、事業担当者(企画者)と講師との綿密な打ち合わせが必要である。
  - ・ 実施市町村の理解と協力が不可欠である。

**問合せ先** 新潟県教育庁下越教育事務所社会教育課(担当：宮本 均)  
Tel：025-231-8362

## 事業名 県立図書館ルネサンス事業

**趣 旨** 県民の生涯学習に資するとともに、当館への理解と利用の一層の促進を図る。  
**実施主体** 新潟県立図書館 **参加対象** 県民 **参加者数** 815名(12月15日現在)  
**回数** **日 数** 10日 **時 間** 15時間  
**場 所** 新潟県立図書館ホール又は大研修室  
**内 容**

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	6月27日(土) 13:30~15:00	「俳句・俳画の世界」	新潟県立文書館 副館長 本井晴信
	内容・方法	所蔵資料紹介講座 「俳句・俳画の世界」と題し、江戸・明治期の新潟における俳句・俳画を中心に、新潟県立図書館・新潟県立文書館所蔵の書画を鑑賞した。また、掛け軸の取り扱い方などもあわせて説明した。	
2	9月6日(日) 13:30~15:00	「挿画でふりかえる天地人の世界」	日本画家 中村麻美
	内容・方法	講演会 平成21年度の大河ドラマ「天地人」(原作・火坂雅志)の主人公「直江兼続」。永禄3(1560)年、越後上田庄の坂戸城下で生まれ、上杉謙信の後継者を巡る「御館の乱」での功績や、かぶとの前立てに「愛」の文字を掲げたことなどで、知られている。平成20年12月16日より平成21年3月29日まで、当館ギャラリーで「直江兼続とその時代」展を開催し、好評をいただいたが、今回は新潟日報で連載された火坂雅志の「天地人」の挿画をテーマに挿画家による講演会や展示を行い、天地人の世界をお楽しみいただいた。	
3	10月10日(土) 13:30~15:00	「酒とワインが奏でるNiigata交響曲」	カーブドッチ社長 落希一郎 尾畑酒造専務 尾畑留美子
	内容・方法	くらし応援講座 日本酒とワインー地酒王国・新潟の醸造界より二人のエースが語る酒とワインの楽しいトークショー。	
4	10月31日(土) 13:30~15:00	「芭蕉 越後路の旅」	作家 金森敦子
	内容・方法	秋の読書週間講演会 『読書週間』は10月27日~11月9日(文化の日を中心にした2週間)と定められ、この運動は全国に広がっている。「読書週間」は社団法人読書推進運動協議会が主催し、当館内に新潟県読書推進協議会事務局を置いている。また2005年7月に施行された「文字・活字文化振興法」により、『読書週間』が始まる10月27日が、「文字・活字文化の日」に制定された。 当館では、「芭蕉の越後路の旅」をテーマに江戸時代の旅のスペシャリスト金森敦子先生をお迎えして「講演会」を実施し、県民の学習・知的ニーズに応えるとともに、当館への理解と利用の一層の促進を図る。	
5	11月12日(木) 13:30~15:00	「はじめましての日本酒と簡単おつまみ」	尾畑酒造専務 尾畑留美子 料理研究家 中島有香
	内容・方法	くらし応援講座やさしい日本酒サロン第1回 「やさしい日本酒サロン」とは、日本酒はもちろんのこと、お酒に関する様々なテーマで楽しくお送りするサロン。 第1回目は「はじめましての日本酒と簡単おつまみ」。お酒の基本的なことからラベルの読み方、新潟の酒の特徴、さらには日本酒と料理のおいしい関係まで、内容は盛りだくさんだった。	

6	期日・時間	テーマ	講師等
	11月14日（土） 13:30～15:00	「ほっとする良寛さん」	良寛研究所所長新潟大学名誉教授 加藤僊一
	内容・方法	<p>ふるさと講座第1回</p> <p>県立図書館は90年を超える歴史の中で、常に郷土資料の蓄積と提供を、大きな柱のひとつとしてきた。8万冊を超える郷土資料の存在を広く県民の皆様にお知らせするため、郷土の歴史的人物などをテーマに「ふるさと新潟の本を読む講座」を実施した。併せて、関係資料展示、パスファインダーの配布なども実施した。</p> <p>講師・加藤僊一先生の著作、『ほっとする良寛さんの般若心経』を紹介し、良寛さん筆の「般若心経」を味わうとともに、良寛さんの伸びやかな心にふれた。</p>	
7	期日・時間	テーマ	講師等
	11月28日（土） 13:30～15:00	「韓流ドラマにみられる韓国文化」	新潟県国際交流員 金美利秀
	内容・方法	<p>世界とアジアを旅する講座第1回</p> <p>アメリカ、ロシア、韓国、中国—テレビのニュースでは毎日のように名前を聞くこれらの国々、実はまだまだ知らないことがたくさんある。県立図書館では、各国の文化や歴史について、県庁で国際交流員の仕事をしている各国出身の人たちを迎え、講座を開催。各国お一人ずつ、出身の国にまつわるテーマでお話しいただいた。</p> <p>今回は、今も熱いブームが続く韓流ドラマ。今回は韓流ドラマにみられるさまざまな韓国の文化について、お話しいただいた。</p>	
8	期日・時間	テーマ	講師等
	12月15日（火） 13:30～15:00	「温度と器で楽しむ日本酒」	尾畑酒造専務 尾畑留美子 玉川堂七代目 玉川基行
	内容・方法	<p>くらし応援講座やさしい日本酒サロン第2回</p> <p>日本酒はもちろんのこと、お酒に関する様々なテーマで楽しくお送りするサロン。</p> <p>第2回目は「温度と器で楽しむ日本酒」。今回は、美味しくお酒を味わうための温度、酒と器のおいしい関係について。当日は、玉川堂さんの新潟の伝統工芸である「鋳起銅器」を実際にご覧いただいた。</p>	
9	期日・時間	テーマ	講師等
	1月31日（日） 13:30～15:00	「書に生きる」	書家 田中玉蘭
	内容・方法	<p>講演会</p> <p>長岡市在住で、世界的に活躍する書道家である田中玉蘭先生をお迎えし、「新春講演会」を開催する。熟年に入ってから書道家としての本格的な活動に入れ、その熟練の技法と大胆な筆致で魅力溢れる作品を生み出しておられる。講演会では田中玉蘭先生の書道家としてのこれまでの歩みをお話しいただく。あわせて県立図書館ギャラリーにて田中玉蘭先生作品の新春書作展を実施している。</p>	
10	期日・時間	テーマ	講師等
	2月21日（土） 13:30～15:00	「ウラジオストクゆかりの日本人」（仮）	新潟県国際交流員 アンナ・リヴィンスカヤ
	内容・方法	世界とアジアを旅する講座第2回	

- 成果** ・ アンケートでは、参加者の満足度が80%を超え、ある程度の成果は得られたと考える。
- 課題** ・ 参加者ニーズを把握してテーマを設定する。十分なPRが必要である。

**問合せ先** 新潟県立図書館 TEL:025-284-6001

<b>事業名</b>	<b>生涯学習職員研修「基礎研修会」</b>		
<b>趣 旨</b>	生涯学習推進のために必要な基礎的・基本的事項について研修を深め、生涯学習・社会教育関係職員等の資質向上を図る。		
<b>実施主体</b>	新潟県立生涯学習推進センター		
<b>参加対象</b>	市町村生涯学習・社会教育関係職員等	<b>参加者数</b>	延べ 121名
<b>回 数</b>	3回	<b>日 数</b>	4日
<b>場 所</b>	新潟県立生涯学習推進センター大研修室		
<b>内 容</b>			

回	期日・時間	テーマ	講師・発表者等
1	5月28日(木) ～29日(金) 10:30～16:00	生涯学習・社会教育事業 への挑戦 ～はじめの一步から～	講師 新潟県立生涯学習推進センター副参事 内藤 薫 氏 発表者 長岡市市民協働部生涯学習文化課主事 於島 裕 氏
	内容・方法	<p>○第1日目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>研修1・2発表・情報交換「生涯学習・社会教育事業への挑戦～はじめの一步から～」(10:30～12:30) 発表者は、昨年度初めて担当した事業の取組の様子を、工夫した点、苦労や失敗談も交えながら発表した。その後、6グループに分かれ、発表を聞いての感想や互いの業務についての情報交換を行った。</li> <li>研修3・4講義・演習「生涯学習社会における社会教育の役割」「事業の企画及びプログラム作成の視点と手順を習得しよう」(13:30～16:30) 生涯学習社会における社会教育の役割の説明。事業計画は、「誰のために、何のために」「どのような内容を、どのように組み立て」「どのように実施していくか」を示すことが大切である。</li> </ul> <p>○第2日目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>研修 演習・発表・全体講評 (10:00～16:00) グループ内で、事業の企画及びプログラム作成の視点と手順に従い、事業計画書及び学習展開計画をパソコンを利用し作成。各グループ6分間の発表。住民起点「市町村民のために何ができるか。」の考えの大切さ等の講評。</li> </ul>	
2	期日・時間	テーマ	講師等
	9月日(木) 10:30～16:00	実践につなげよう	講師 新潟県立生涯学習推進センター副参事 内藤 薫 氏
内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修1・2 講義・演習「～プログラムチェックとリデザイン①②～」(10:30～15:00) パワーポイントや講義資料を使用し、事業計画のチェック(点検)とリデザイン(再検討)の意義やその仕方の説明。その後、資料「学習プログラムのチェックの視点」を使用しチェック。</li> <li>研修3演習「～発表～」・講評 (15:00～16:00) グループ内で各自の事業計画を3つの観点で発表した。その後、講師より講評。</li> </ul>		
3	内容・方法	テーマ	講師等
	11月20日(金) 10:30～16:00	広報・広聴活動のあり方を考える	講師 宇都宮大学生涯学習教育研究センター准教授 佐々木英和 氏
内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修1 講義「広報・広聴活動のあり方を考える」 (10:30～12:10) 2人組のミニワークショップをところどころに入れながら、資料とパワーポイントでの分かりやすい説明を加え、「広報・広聴活動のあり方を考える」をテーマとしての講義。</li> <li>研修2・3 演習・発表・講評 (13:10～16:30) 4人1グループ8班で、事業の企画及びポスターづくりを行った。その後、企画説明(プレゼンテーション)を1グループ1分で実施。事業の趣旨や方法を明確にして行うようにとの指導があった。</li> </ul>		

- 成 果**
- ・ 研修会への期待度82% 受講者の参加期待度は高く、市町村では、基礎研修会を必要としていることが感じられる。
  - ・ 研修に参加して成果があった93%、今後役に立つ93%、プログラムが適切であった93%、運営全体が適切であった96%以上より、講師の選定や研修内容及び研修の進め方等は、満足してもらえたものであった。
- 課 題**
- ・ 研修全体としては時間的に余裕がなく、受講者一人一人が具体的な活動までに行かないものもあった。→特に、チラシづくりは、研修期間(3回5日)のうち1回2日間で実施するか、情報課が実施しているメディア研修会との連携を図る必要がある。
  - ・ 地区別参加状況を見てみると、上越地区からの参加者は、3回を通して3人である。距離的な問題、開始時間、研修内容(面白くない、必要感を感じない)等調査し、来年度以降の研修のあり方を検討していく。

**問合せ先** 新潟県立生涯学習推進センター学習振興課(担当:若月信久) TEL:025-284-6110

**事業名** 生涯学習職員研修「リーダー研修会」～元気な地域づくりを考える～

**趣 旨** 新潟県のような地域課題に対応した生涯学習・社会教育の更なる推進が求められている中で、課長・係長級等リーダーの業務遂行に必要な企画力・運営力を高める。

**実施主体** 新潟県立生涯学習推進センター

**参加対象** 市町村生涯学習・社会教育関係課長・係長、公民館長、NPO関係者 等

**参加者数** 38名

**回 数** 1回 **日 数** 1日 **時 間** 2時間半

**場 所** 新潟県立生涯学習推進センター大研修室

**内 容**

回	期日・時間	テーマ
	11月17日(火) 10:00～12:30	元気な地域づくりのヒントをさぐる
	講師	聖徳大学生涯学習研究所 所長 福留 強 氏
1	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修1 講義「これからの生涯学習・社会教育を考える」 ～元気な地域づくりのヒントをさぐる～ (10:00～11:00) 別紙資料をもとに、全国でまちづくりに関わりながら実践されてきた事例「元気な地域に学ぶ(嘉例川駅ものがたり・志布志創年市民大学、やなだん等)」を取り上げ、パワーポイントでの分かりやすい説明を加えながら「生涯学習で飯が食えるか(自己の向上、生活の向上、職業能力の向上等)」「学びあうシステムづくりは、まちづくり」「創年活動の広がり」等についての講義を行った。</li> <li>・研修2 グループ討議 テーマ「元気な地域づくりのヒントをさぐる」 ～情報(意見)交換～ (11:10～11:55) 元気な地域づくりのヒントをさぐるため、5人1グループ7班で「自分の地域の課題やその解決に向けての取組状況」「元気な地域づくりには、何が必要か」等の意見交換を行った。</li> <li>・研修3 発表(1グループ2分)・まとめ(講師より) (11:55～12:25) 各グループでの発表の後、講師よりまとめを行った。まとめでは、まちづくりでの行政の役割は、スタッフ(中心になって活躍してくれる人 3人からスタート)育てである。また、観光とまちづくりの推進として、旅のもてなしプロデューサー、旅程管理主任資格と仕事づくり等、観光立国の基本についての話があった。特に、観光とは、「国の光を誇らしく示すこと。国の光を心をこめて観ること」であるとパワーポイント資料も使いまとめた。</li> </ul>

**成 果** ・ 受講者アンケート(参加前の期待51.7%から研修を受けて成果があった96.6%)より、受講者にとって期待していた以上の研修内容であった。また、受講したことがこれからの活動に役立つと思っている96.6%より、実践化への意欲も高い。

**課 題** ・ アンケート全体をとおして、参加満足度は高いが、今回のプログラム(講義→グループ討議→発表・まとめ)は、半日の内容としては盛り沢山過ぎ、無理があった。1日で実施するか、半日で講義(講演)のみにする等の検討が必要である。

**問合せ先** 新潟県立生涯学習推進センター学習振興課(担当:若月信久) TEL:025-284-6110

**事業名** 社会教育主事専門講座

**趣 旨** 県内生涯学習・社会教育関連機関で活躍している社会教育主事のコーディネーターとしての専門性を高め、県内生涯学習・社会教育の推進を図る。

**実施主体** 新潟県立生涯学習推進センター

**参加対象** 県・市町村の教育委員会において社会教育主事として発令されている者

**参加者数** 31名

**回数** 1回 **日 数** 3日 **時 間** 15時間

**場 所** 新潟県立生涯学習推進センター大研修室

**場 内 容**

回	期日・時間	テーマ	講師・発表者等
	7月22日(水) ～24日(金) 10:00～16:00	今後の社会教育主事としての役割を再認識する	講師 独立行政法人国立青少年教育振興機構 理事 菊川律子 氏 東京家政大学 教授 山本和人 氏 (有)マックス・ゼン・パフォーマンスコンサルタンツ代表取締役 丸山結香 氏 基調報告者 滋賀県教育委員会事務局生涯学習課 副主幹 北島泰雄 氏
1	内容・方法	<p>○第1日目</p> <p>・研修1 講義「社会教育行政の現状と社会教育主事に求められる課題」 (10:00～12:00) 教育基本法改正以後の動向、新潟県の生涯学習・社会教育について優れている点や課題と思われる点等についての解説、社会教育主事に求められる資質能力や課題について等 具体的な内容の講義を実施。</p> <p>・研修2 事例研究・演習「地域・家庭・学校を結ぶ仕組みづくりに果たす社会教育主事の役割について」 基調報告者 滋賀県教育委員会事務局生涯学習課 副主幹 北島泰雄 氏 (13:00～16:00) 滋賀県で行っている「子どもを育む地域・家庭教育推進事業」として取り組んでいる「学校と地域を結ぶコーディネーター担当者新任研修」「地域の力を学校へ推進事業」「しがふあみ(家庭教育協力企業協定制度)」「放課後子ども教室推進事業」等、家庭・学校・地域・企業等の連携にかかわる事業説明。演習は、「地域・家庭・学校を結ぶ仕組みづくりに果たす社会教育主事の役割について」としてワークショップ(それぞれの課題の洗い出しと解決策の検討)を実施。</p> <p>○第2日目</p> <p>・研修1 講義「地域の課題把握のための情報収集・活用方法について」 (10:00～12:00) 「課題」とは何か、情報の収集・活用について等を中心に別紙資料で講義。「ノートを活用方法の説明」「イベント開発企画のフレームワーク」「自分で採点するネットワーク・チェックリスト」の説明</p> <p>・研修2 演習「地域情報の分類・整理・活用方法～シートの開発を行う～」 (13:00～16:00) グループワーク「地域・家庭・学校を結ぶ仕組みづくりはどのようなシステム、フレームで考えればよいか。そのために必要な情報をどのように整理すればよいか。」解決のため、午前中の講義を踏まえてグループ内で設計。</p> <p>○第3日目</p>	<p>講義講師 独立行政法人国立青少年教育振興機構 理事 菊川律子 氏</p> <p>講師 東京家政大学 教授 山本和人 氏</p> <p>講師：(有)マックス・ゼン・パフォーマンスコンサルタンツ代表取締役 丸山結香 氏</p>

**成 果** ・ 受講者アンケートより、仕事に役立つ知識やスキルを習得できた84% また、今後の仕事に役立つと感じることができた92%等 このことより、今回のコーディネーターとしての社会教育主事のスキルアップを図るためのプログラム「今後期待されるコーディネーターとしての社会教育主事の重要性の確認、仕組みづくりに関する企画・運営能力の構築、情報の分類・整理・活用方法の習得、コミュニケーション力(コーチング力)の向上」は有効であった。また、プレ研修シートやふりかえりシート・事後レポートも含めた研修の持ち方は、受講者への負担はあったが、各自の課題や課題解決の方策の明確化が図れるとともに、実践への意欲化につながっている。

**課 題** ・ 7月下旬開催や3日間連続の日程は、国体準備の関係とも絡まり無理があったようだ。今後の検討事項である。

**問合せ先** 新潟県立生涯学習推進センター学習振興課(担当:若月信久) TEL:025-284-6110

**事業名** 「新潟県内の生涯学習取組事例集(平成21年度版)」

**趣 旨** 様々な取組を紹介し、市町村・関係機関の事業推進を支援する。

**実施主体** 新潟県立生涯学習推進センター

**参加対象** 県内各市町村・県内各関係機関(団体)・各教育事務所・県教育庁生涯学習推進課等

**掲載数**

市町村関係事例	24市町村	57事例
県関係事例	12施設	38事例
講師紹介	9市町村	5施設

**掲載内容**

- ① 県内各市町村が、平成21年度に力を入れて取り組んできた事例  
※社会全体で子どもをはぐくむ運動(「放課後子ども教室推進事業」・「学校支援地域本部事業」・「学びあい、支えあい」地域活性化推進事業・地域における家庭教育支援基盤形成事業)に関わる取組は除く。
- ② 当生涯学習推進センターや県教育庁生涯学習推進課、各教育事務所、生涯学習関係機関・団体等が平成21年度に取り組んできた事例
- ③ 歴代の当センター研修会等講師一覧
- ④ 市町村が平成21年度実施した研修会等講師一覧

**体 裁** 1事例はA4で1頁 全体で約250頁

**発行部数** 830部

**配布先** 県内各市町村・県内各関係機関(団体)・各教育事務所・県教育庁生涯学習推進課等

**作業日程**

- ・ 関係機関・団体等への資料提供について依頼 平成21年11月上旬  
※提出締め切り 平成22年 1月18日(月曜日)
- ・ 校正(所内) 1月下旬
- ・ 印刷製本依頼 2月上旬
- ・ 事例集発送 3月上旬

**成 果**

- ・ 各市町村、関係機関・団体の特色ある取組の情報を広範囲に収集し、事例集を作成することができた。
- ・ 県内各市町村、関係機関・団体等の生涯学習の動向を大まかに把握することができた。
- ・ 県内各市町村での研修会等講師の大まかな把握ができた。

**課 題**

- ・ 県内全ての市町村及び関係団体から、事例及び研究会等講師情報が得られるよう、広報活動及び掲載依頼をもっと積極的に実施していく。また、この事例集を活用し、それぞれのところで、事業の充実や見直し、新たな事業起こしができるような内容(掲載の仕方や新たな事業の提言も含め)の仕方等を考えていく。

**問合せ先** 新潟県立生涯学習推進センター学習振興課(担当:若月信久) TEL:025-284-6110

## 事業名 メディア研修会

**趣 旨** 社会教育関係者のメディア・情報担当者に必要な知識・技能の習得と資質・能力の向上を図る。

**実施主体** 新潟県立生涯学習推進センター

**参加対象** 県・市町村教育委員会職員（含：公立学校教員）、生涯学習施設職員

**参加者数** 119名

**回数** 22回 **日数** 22日 **時間** 119時間

**場所** 新潟県立生涯学習推進センター（コンピュータ研修室）

### 内 容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	6/25 7/3 8/4 8/5 9/9 5回 (9:30～16:30)	デジタルカメラ撮影&画像加工基礎講座	同センター 社会教育主事 早川・村澤
	内容	デジタルカメラについての屋内外の撮影技能、およびPCを使ってのトリミングや光量調整、文字入れなどの画像加工などに関する基礎的な技能の習得を図る。	
2	期日・時間	テーマ	講師等
	8/27 1回 (9:30～16:30)	ビデオ撮影&ビデオ簡易編集基礎講座	同センター 社会教育主事 早川
内容	ビデオ編集を目的にしたビデオ撮影、およびビデオ編集の基礎的な技能の習得を図る。		
3	期日・時間	テーマ	講師等
	6/12 7/9 8/26 12/16 4回 (9:30～16:30)	ビデオ編集基礎講座	同センター 社会教育主事 早川・村澤
内容	ビデオ編集ソフトの操作法を学習しながら、実際にビデオ作品（DVD）を作る。		
4	期日・時間	テーマ	講師等
	6/18 7/15 8/6 8/10 9/18 10/30 12/4 1/13 8回 (9:30～16:30)	プレゼンテーション資料作成基礎講座	同センター 社会教育主事 早川・村澤
内容	プレゼンテーションソフトの操作法を学習し、プレゼンテーションを作ったり提示したりするための基礎的な技能の習得を図る。		
5	期日・時間	テーマ	講師等
	7/21 7/29 8/20 3回 (9:30～16:30)	ホームページ作成基礎講座	同センター 社会教育主事 早川・村澤
内容	ホームページの仕組みや、ホームページ作成ソフトの操作法を学習し、ホームページを作るための基礎的な技能の習得を図る。		
6	期日・時間	テーマ	講師等
	11/6 1回 (13:30～16:30)	チラシ作成基礎講座	同センター 社会教育主事 早川
内容	主に公民館等職員方々を対象に、効果的なチラシについて考えたり、実際に作成したりする。		

**成 果**

- ・ 普段使っているデジカメの機能や特性を理解し用途に合わせて画像を加工するという研修を通して、今後の仕事に活用できるという実践的な研修であった。
- ・ 受講者は、今まで撮りためていたビデオ素材を活用して教材を作ったり、ビデオ編集は手軽にできることを印象づけたりすることができた。
- ・ 担当者や目的をもった受講者などは、自分が作りたいかったプレゼン資料やホームページを作成することができ大変有意義であったという感想が多く聞かれた。

**課 題**

- ・ ビデオ編集は一日の研修では時間が足りない。特にDVD焼付作業に大幅な時間がかかった。また、夏期休業中は学校関係者の申込みが集中し受講できない申込者が多かった。

**問合せ先** 新潟県立生涯学習推進センター学習情報課（担当：早川敬一） TEL:025-284-6110

**事業名 古文書解読講座**

**趣 旨** 古文書解読を通じて「文書等」の保存について、啓発（意義や方法）・普及を図る。「文書等」を教材とし、新潟県や県内各地域の歴史に対する理解を深める学習機会を県民に提供する。

**実施主体** 新潟県立文書館

**参加対象** 一般県民

**参加者数** 158名

**回 数** 春季・秋季各5回      **日 数** 春季・秋季各5日

**時 間** 春季・秋季各10時間

**場 所** 春季：魚沼市中央公民館 秋季：新潟県立文書館ホール

**内 容**

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	6/3・10・17・ 24・7/1 13:30～15:30	古文書解読講座（初心者向け）	新潟県立文書館職員
	内容・ 方法	県内各地域に残された近世・近代文書をテキストとして用い、文字の解読・時代背景や関連事項の解説を行った。あわせて、文書の扱い方や保存の意義とその実際についても説明した。	
2	10/9・16・23・ 30・11/6 13:30～15:30	古文書解読講座（初心者向け）	新潟県立文書館職員
	内容・ 方法	県内各地域に残された近世・近代文書をテキストとして用い、文字の解読・時代背景や関連事項の解説を行った。あわせて、文書の扱い方や保存の意義とその実際についても説明した。	

**成 果** ・ ここ数年申込者数が年々微増傾向にあり、今年度も昨年度に比べ15名増えた。特に申込希望の多かった秋季講座の会場を従来の大研修室からホールに変更したため、すべての受講申込に対応することができるようになった。講座内容についても、解読だけでなく時代背景等の詳細な解説も含むことが高く評価されている。

**課 題** 特記事項なし

**問合せ先** 新潟県立文書館（担当：田辺芳春） TEL：025-284-6011

**事業名** 越前浜チャレンジセミナー

**趣 旨** 青少年指導者としての専門的な知識・技術を体験的に学び、地域や職場における指導者の養成及び資質の向上を図る。

**実施主体** 新潟県立青少年研修センター

**参加対象** 18歳以上の青年、青少年指導者等（高校生を除く）

**参加者数** 延べ 52名

**回 数** 3回 **日 数** 各回 1泊2日

**場 所** 新潟県立青少年研修センター

### 内 容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	5月16日(土)～ 5月17日(日)	第1回 レクリエーション編	健康レクリエーション研究所 山田征夫様
	内容・方法	・レクリエーション実習を通してレクリエーションの基礎指導法を研修すると共に、望ましい人間関係のあり方について学ぶ。	
2	7月11日(土)～ 7月12日(日)	第2回 アドベンチャー教育編	国立妙高青少年自然の家 主任企画指導専門職 橋本晃様 企画指導専門職 河野健一様
	内容・方法	・体験学習の手法を用いたアドベンチャー教育の方法を研修する。(プロジェクトアドベンチャーの手法を紹介する。)	
3	9月12日(土)～ 9月13日(日)	第3回 環境教育指導者養成編	日本自然環境専門学校 学校長 五十嵐實様
	内容・方法	・プロジェクトワイルドの考え方を研修し、体験を通じて環境教育における一般指導者(エデュケーター)を育成する。	

**成 果**

- ・ 多様なニーズを抱える青少年指導者に対して、地域や職場での事業を企画する際の知識、技術およびヒントを十分に提供できた内容である。
- ・ リピーター参加者も多くなってきており、参加者の一人ひとりが青少年指導者としての力を備えてきている。

**課 題**

- ・ いずれのテーマでも自らの技量をさらに高めたい参加者が多数おり、また、同数の新規参加者もいることを踏まえれば、初心者と経験者の受講機会を分けるなど、両者がそれぞれのレベルで満足できる研修のもち方を考えなくてはならない。

**問合せ先** 新潟県立青少年研修センター 研修課 TEL 0256-77-2111

**事業名** 家族でとびだせ！おもしろ体験ランド

**趣 旨** 家族の絆を強めるとともに、地域での指導力の向上を図る。

**実施主体** 新潟県立青少年研修センター

**参加対象** 家族、親子（子どもは小学生以上）

**参加者数** 延べ 145名 （第3回は未実施のため、参加人数は確定できない）

**回 数** 3回 **日 数** 各回 1泊2日

**場 所** 新潟県立青少年研修センター

### 内 容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	7月25日(土)～ 7月26日(日)	第1回 「夏の体験ランドを楽しもう！」	にいがた貝友会 顧問 村山均様 青少年研修センター研修課職員
	内容・方法	・海辺での活動やテント生活などとおして、家族・親子間の絆を強める。 ・青少年指導者として、夏の体験活動の知識と実践力を身につける。	
2	10月10日(土)～ 10月11日(日)	第2回 「秋の体験ランドを楽しもう！」	青少年研修センター研修課職員
	内容・方法	・芋掘りなどの農業体験やハロウィン体験などとおして、家族・親子間の絆を強める。 ・青少年指導者として、秋の体験活動の知識と実践力を身につける。	
3	2月27日(土)～ 2月28日(日)	第3回 「冬の体験ランドを楽しもう！」	青少年研修センター研修課職員
	内容・方法	・餅つき、昔あそび、キャンドルファイヤーなどとおして、家族・親子間の絆を強める。 ・青少年指導者として、冬の体験活動の知識と実践力を身につける。	

**成 果**

- ・ 親子で共同して取り組めるメニューの効果もあり、ふれあいの時間がとれたと好評であった。
- ・ 子どもの成長に合わせ、海浜での生物観察や芋掘り体験などに取り組んだことで参加者は興味を持って参加でき、PTA活動の参考にしたいとの意見が寄せられた。

**課 題**

- ・ この事業に参加した家族が地域に戻った際、子供会等の行事に積極的に関わるような意識が持てるように内容や取組方法を考えていくことが必要である。

**問合せ先** 新潟県立青少年研修センター 研修課 Tel 0256-77-2111

**事業名** 青少年指導者グループワーク研修

**趣 旨** グループワークトレーニング研修を通して、青少年指導者の資質や指導力の向上を図る。

**実施主体** 新潟県立青少年研修センター

**参加対象** 18歳以上の教員、青少年教育担当者等（ただし、高校生を除く）

**参加者数** 30名

**回 数** 1回 **日 数** 2泊3日

**場 所** 新潟県立青少年研修センター

**内 容**

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	11月21日(土)～ 11月23日(月)	構成的グループエンカウンター宿泊 体験ワークショップ	SGE 公認リーダー 村上市立塩野町小学校長 吉澤克彦様 SGE 公認リーダー
	内容・方法	・SGE（構成的グループエンカウンター）公認リーダーが、エクササイズや全体シェアリングを展開する。 ・自然で無理のないプログラムに沿って参加者は感情交流をし、親密な人間関係を作り自他発見を目指す。	

**成 果** ・多くの受講者から期待していた内容であったとの評価があり、また、新しい手法の発見であったとの感想が寄せられるなど、構成的グループエンカウンターに対する理解に成果があった。

**課 題** ・関心の高い内容であることを考えると、受講機会を増やすことや受講のしやすさを考慮しなければならない。

**問合せ先** 新潟県立青少年研修センター 研修課 TEL 0256-77-2111

**事業名** チャレンジわんぱく

- 趣 旨**
- ・ 学校や家庭では得難い自然体験をとおして、自然に親しむ心や自然への敬けんの念を育てる。
  - ・ 様々な自然体験に挑戦することをとおして、勇気をもって行動することの大切さに気づかせる。
  - ・ 集団宿泊生活体験をとおして、他を思いやる心を育てたり、集団生活をする上でのルールやマナーに対する意識を高めたりする。

**実施主体** 新潟県少年自然の家

**参加対象** 小学校4年生～6年生

**参加者数** 第1回：70名 第2回：66名 第3回：64名（予定）

**回 数** 3回 **日 数** 各回1泊2日

**場 所** 新潟県少年自然の家 第1回：胎内川河口 第2回：高坪山 第3回：胎内スキー場

**内 容**

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	8月1日（土） ～2日（日）	日本海の波・風にチャレンジ！	自然の家社会教育主事
	内容・方法	○アウトドアクッキング：クッキングの技術・危険の学習 カレー・サラダ・ソーセージ作り ○ナイトハイク：海岸までハイキング ○手作りアイスクリーム：牛乳等から自分たちでアイスクリーム作り ○テント泊：グループ毎に毛布とマットだけでテント泊 ○カヌー体験：胎内川及び河口付近の海でカヌー体験	
2	10月10日（土） ～11日（日）	山のとっぺんにチャレンジ！	自然の家社会教育主事
	内容・方法	○豪快アウトドアクッキング：炊き込みご飯・鳥の丸焼き・みそ汁作り ○肝試し：グループ毎に乙宝寺周辺を肝試し ○登山：高坪山をグループ毎に登山 頂上で昼食	
3	1月23日（土） ～24日（日）	白銀の世界で気持ちよくチャレンジ！ 自然の家社会教育主事 スキー指導員	自然の家社会教育主事 胎内市中条スキークラブ
	内容・方法	○どんど焼き：塞の神・するめ焼き ○おもちゃパーティー：もちつき・各種餅料理 ○レクリエーション：体育館でグループ対抗のゲーム ○スキー教室：グループに分かれスキー指導員によるスキー実習	

- 成 果**
- ・ 子どもにとって初体験の活動が多く、自然や野外活動に対する興味が高まった。
  - ・ 集団生活のルール・マナーを学んだ。

- 課 題**
- ・ 常に新しく、楽しい活動プログラムを考えていき、次年度も参加する子どもたちにとっても満足度の高い事業にしていきたい。

**問合せ先** 新潟県少年自然の家 指導課 （担当 中野 隆一） TEL：0254-46-2224

**事業名** 不登校児童生徒体験活動推進事業 「はつらつ体験塾」

**趣 旨** 不登校及び不登校傾向の児童生徒を対象に、青少年教育施設を活用し、自然体験・共同生活体験・宿泊体験などの様々な体験活動を行う中で、社会性や集団への適応性を高めたり、円滑な人間関係づくりの経験をさせたりするとともに、自信の回復・高揚を図り、自立への支援を行う。

**実施主体** 新潟県少年自然の家

**参加対象** 不登校・不登校傾向の児童生徒及びその保護者や担任・適応指導教室指導者

**参加者数** 第1回 32名 第2回 48名 第3回 56名

**回数** 3回 **日 数** 各回 1泊2日×2、2泊3日×1の3キャンプ

**場 所** 第1回 新潟県少年自然の家 第2回 新潟県立青少年研修センター

第3回 国立妙高青少年自然の家

**内 容**

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	5月16日(土)～17日(日) 6月13日(土)～14日(日) 7月18日(金)～20日(日)	・自然体験や人とかかわる楽しさ ・仲間との協力や感動のすばらしさ ・やり遂げることで達成感	新潟県少年自然の家：社会教育主事 教育カウンセラー：山田友明 氏 胎内グラウンドゴルフ連盟会員各位
	内容・方法	○ アウトドアクッキング(夕食)、レクリエーション、オリエンテーリング ○ アウトドアクッキング(夕食)、ナイトハイク、グラウンドゴルフ ○ クラフト(うちわづくり)、献立づくり、買い物、アウトドアクッキング(昼食・夕食) キャンドルファイア、フリスビードッジ、保護者プログラム(個別カウンセリング)	
2	8月 8日(土)～ 9日(日) 9月12日(土)～13日(日) 10月 2日(金)～ 4日(日)	・自然体験や人とかかわる楽しさ ・仲間との協力や感動のすばらしさ ・やり遂げることで達成感	新潟県少年自然の家：社会教育主事 県立青少年研修センター：研修課職員 医学博士：七里佳代 氏 茶道宗偏流師範：横田宗深 氏
	内容・方法	○ アウトドアクッキング(夕食)、レクリエーション、海遊び ○ アウトドアクッキング(夕食)、レクリエーション、オリエンテーリング ○ クラフト(陶七宝・キャンドルづくり)、登山ミーティング、角田山登山、お茶会、 クッキング&バイキング(昼食)、保護者プログラム(個別カウンセリング)	
3	期日・時間	テーマ	講師等
	11月14日(土)～15日(日) 12月12日(土)～13日(日) 1月 9日(土)～11日(月)	・自然体験や人とかかわる楽しさ ・仲間との協力や感動のすばらしさ ・やり遂げることで達成感	新潟県少年自然の家：社会教育主事 国立妙高青少年自然の家：河野健一氏 妙高アドベンチャー講師：金巻知子氏 妙高アドベンチャー講師：及川未希生氏 そば打ち講師：山崎辰雄氏・宮下敏彦氏 県内高等学校保護者：山口貴子氏
内容・方法	○ クッキング(夕食)、レクリエーション、妙高自然探検 ○ そば打ち、レクリエーション、妙高アドベンチャー ○ クラフト(フォトフレームづくり)、お楽しみ会、雪原アクティビティ(かまくら・雪灯籠づくり、雪上運動会等)、保護者向けプログラム(座談会)		

**成 果**

- ・ 今年度は、3つのキャンプを1セットにして、年間3回の開催で、それぞれ上・中・下越または、その地域に近い会場で開催し、県内の広域からの参加が見られた。
- ・ 開催日を土・日や三連休にすることによって学校に少しでも登校できている生徒児童が、学校を休まずに事業に参加できるようになった。

**課 題**

- ・ 児童生徒の定員30名に対し、参加率が高くて50%程度である。よって、参加者数の増加に努めていく。広報の回数や方法を工夫していく必要がある。

**問合せ先** 新潟県少年自然の家 指導課 (担当：出頭 久美子) TEL:0254-46-2224

## 事業名 映画鑑賞会

**趣 旨** 東西の名作や記録映画を上映し、映画鑑賞・美術館に親しむ機会とする

**実施主体** 新潟県立近代美術館

**参加対象** 一般

**参加者数** ①28 ②43 ③23 ④25 ⑤42 ⑥42 ⑦46 合計249

**回数** 14回 **日数** 7日 **時間** 計約21時間

**場 所** 新潟県立近代美術館講堂

### 内 容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	5月2日10時～・14時～	「仔鹿物語」	
	内容・方法	仔鹿を守り育てる少年と仲間たちの姿を北海道の美しい自然とともに描く。	
2	8月8日10時～・14時～	アーティストドキュメンタリー映画「≡草間彌生～わたし大好き～」	
	内容・方法	草間彌生を1年半もの間追い続けたドキュメンタリー映画。	
3	8月15日10時～・14時～	アーティストドキュメンタリー映画「≡天明屋尚」	
	内容・方法	天明屋尚の伝統的で斬新な「ネオ日本画」の制作の様子を収めた映画。	
4	8月22日10時～・14時～	アーティストドキュメンタリー映画「≡舟越桂」	
	内容・方法	舟越桂の彫刻家の姿と彼が楠に命を吹き込む過程を収めた映画。	
5	8月29日10時～・14時～	アーティストドキュメンタリー映画「≡会田誠～無気力大陸～」	
	内容・方法	会田誠が200号の大作『「人」プロジェクト』に取り組む姿を収めた映画。	
6	9月5日10時～・14時～	アーティストドキュメンタリー映画「≡森山大道」	
	内容・方法	写真家森山大道の作品群とともに、彼のエピソードを収めた映画。	
7	12月12日11時～・14時～	「彫る 棟方志功の世界」	
	内容・方法	版画と向き合う棟方志功に密着したドキュメンタリー作品。	

**成 果** ・ アーティストドキュメンタリー特集では、展覧会に関連した作家を加えたことで、展覧会に対する作品理解を深めることができた。

**課 題** ・ アーティストドキュメンタリーという美術館特有のプログラムのため、作品の知名度が低く参加者が多くなかった。展覧会と関連が深く、かつ知名度の高い映画を優先して上映していく。

**問合せ先** 新潟県立近代美術館学芸課

TEL：0258-28-4112

**事業名 美術鑑賞講座**

**趣 旨** 美術に関連する講座を行い、美術館や美術作品に親しむ機会とする

**実施主体** 新潟県立近代美術館

**参加対象** 一般

**参加者数** ①35 ②37 ③25 ④60 ⑤24 ⑥20 ⑦24 ⑧34 ⑨32 ⑩18 ⑪・⑫実施予定 合計309

**回数** 12回 **日 数** 12日 **時 間** 各回約1.5時間

**場 所** 新潟県立近代美術館講堂

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	5月16日14時～	近代日本美術史入門 名品をたずねて1 明治期の洋画－高橋由一、小山正太郎を中心に	万代島美術館業務課長 桐原浩
	内容・方法	高橋由一、小山正太郎を中心に幕末から明治にかけての代表作を紹介する	
2	5月23日14時～	近代日本美術史入門 名品をたずねて2 明治期の日本画－西洋絵画との出会い	近代美術館副館長 横山秀樹
	内容・方法	美術に関する諸制度が確立してゆく時代に活躍した日本画家たちを紹介する	
3	5月30日14時～	近代日本美術史入門 名品をたずねて3 大正期の日本画－個性と情熱の時代	近代美術館主任学芸員 長嶋圭哉
	内容・方法	東京の日本美術院、京都の国画創作協会で活躍した画家を中心に紹介する	
4	9月26日14時～	土田麦僊 人と作品	近代美術館副館長 横山秀樹
	内容・方法	佐渡に生まれ、近代日本画の新しい可能性を追求し続けた土田麦僊の画業を紹介する	
5	10月3日14時～	西洋美術史入門1 北方ルネサンス（ドイツ）	万代島美術館業務課長 桐原浩
	内容・方法	15-16世紀のドイツ美術について、デューラーを中心に紹介する	
6	10月10日14時～	西洋美術史入門2 近代レアリズム（フランス）	近代美術館学芸課長代理 平石昌子
	内容・方法	19世紀初頭の歴史画から印象派の風景画へといたる近代リアリズムの潮流を紹介する	
7	10月17日14時～	西洋美術史入門3 モダニズム（フランス）	近代美術館主任学芸員 濱田真由美
	内容・方法	20世紀前半のフランスを中心に展開した諸芸術運動について紹介する	
8	10月24日14時～	昭和期の麦僊－古典美の追求と朝鮮	近代美術館主任学芸員 長嶋圭哉
	内容・方法	古典美術の研究や朝鮮旅行がもたらした影響を考え、麦僊が追い求めた美を紹介する	
9	11月28日14時～	詩心あふれる芸術家たち	近代美術館学芸課長代理 平石昌子
	内容・方法	言葉と造形性という視点から川上澄生、棟方志功、齋藤三郎の芸術を紹介する	
10	12月5日14時～	コルヴィッツとバルラッハ 共鳴する精神	万代島美術館業務課長 桐原浩
	内容・方法	互いの仕事に敬意を払い、困難な時代を生き抜いた二人の芸術家の活動を紹介します	
11	2月27日14時～	阿部展也とその周辺	近代美術館主任学芸員 濱田真由美
	内容・方法	阿部展也の多彩な活動から生まれた作品や交流のネットワークを紹介する	
12	3月20日14時～	新潟の金工 佐々木象堂と佐渡・柏崎の作家たち	近代美術館学芸課長 藤田裕彦
	内容・方法	柏崎・佐渡を中心とする新潟県の金工の歴史と佐々木象堂の作品について紹介する	

**成 果** ・ 美術史入門の連続講座に関心が高く、繰り返し聴講される方があった。展覧会と関連付いた講座が聴講者に好評で、満足度が高かった。

**課 題** ・ 新規聴講者の開拓と聴講者の増員のために、新たな講座内容についての研究を進める。

**問合せ先** 新潟県立近代美術館学芸課 TEL : 0258-28-4112

## 事業名 ワークショップ

**趣 旨** 体験型・参加型のワークショップを行い、美術館や美術作品、鑑賞や表現活動に親しみ楽しむ

**実施主体** 新潟県立近代美術館

**参加対象** 一般

**参加者数** ①13 ②19 ③10 ④8 ⑤6 ⑥25 ⑦6 ⑧11 ⑨8 ⑩4 合計110

**回数** 10回 **日 数** 10日 **時 間** 各回約1.5時間

**場 所** 新潟県立近代美術館 (3・7回は約5時間)

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	4月26日14時～	びじゅつ☆体験隊「高橋由一の《鮭図》に迫るーさかなをえがく」	主任学芸員 野村宏毅
	内容・方法	干物の「魚」を鉛筆・色鉛筆・ペン・筆ペン等で描いて、高橋由一の思いに迫る。	
2	期日・時間	テーマ	講師等
	5月3日14時～	発見！びじゅつかん「美術館の舞台裏探検」	学芸課長代理 立川厚生
内容・方法	普段見ることのできない美術館の裏側を探検する。		
3 特別	期日・時間	テーマ	講師等
	6月21日10時30分～	秋山さやかワークショップ「長岡をつづる」	作家 秋山さやか
内容・方法	長岡の街を散策して集めた「モノ」を使って、思い出を「手紙」のかたちで表現する。		
4	期日・時間	テーマ	講師等
	7月12日14時～	発見！びじゅつかん「ギャラリートーク 美術でおしゃべり①」	主任学芸員 佐藤克己
内容・方法	展示室で作品を見ながら、互いに感じたことを交流し、見方を広げる。		
5	期日・時間	テーマ	講師等
	7月26日14時～	発見！びじゅつかん「ギャラリートーク 美術でおしゃべり②」	学芸課長代理 立川厚生
内容・方法	展示室で作品を見ながら、互いに感じたことを交流し、見方を広げる。		
6	期日・時間	テーマ	講師等
	8月9日14時～	びじゅつ☆体験隊「ゆめの広がる石コウのタマゴ」	学芸課長代理 立川厚生
内容・方法	何が生まれるタマゴか想像しながら思い思いの大きさや色のタマゴをつくる。		
7 特別	期日・時間	テーマ	講師等
	8月16日10時30分～	丸山直文ワークショップ	作家 丸山直文
内容・方法	丸山直文の作品の特徴である「ステイニング」の技法を体験する。		
8	期日・時間	テーマ	講師等
	9月20日14時～	びじゅつ☆体験隊「大人のぬり絵ー土田麦僊の舞妓を描く」	主任学芸員 佐藤克己
内容・方法	土田麦僊の《舞妓林泉図》のぬり絵を通して、近代的な様式美を体感する。		
9	期日・時間	テーマ	講師等
	10月4日14時～	びじゅつ☆体験隊「色と形でピカソに挑戦」	学芸課長代理 立川厚生
内容・方法	コラージュの技法を使って表現し、ピカソのキュビスムの作品に迫る。		
10	期日・時間	テーマ	講師等
	11月1日14時～	発見！びじゅつかん「落ち葉をあつめてカラフル・アート」	主任学芸員 野村宏毅
内容・方法	落ち葉を使用してのコラージュや貼り絵等で、画面構成を行う。		

**成 果** ・ 制作中心の内容では、家族連れの参加が多く好評であった。美術館探検では、幅広い年齢層の参加があった。

**課 題** ・ 事前申込で人数を把握し、参加数が多い場合はボランティアの協力を得て対応し、少ない場合は、増員のための広報を工夫する。

**問合せ先** 新潟県立近代美術館学芸課

TEL : 0258-28-4112

**事業名 特別イベント（講演会、コンサート等）**

**趣 旨** 展覧会に関連する講演会・コンサート等を行い、美術館や美術作品に親しむ機会とする  
**実施主体** 新潟県立近代美術館  
**参加対象** 一般  
**参加者数** ①25 ②45 ③20 ④500 ⑤39 ⑥113 ⑦90 ⑧30 ⑨80 ⑩178 ⑪66 合計1186  
**回数** 11回 **日数** 11日 **時間** 各回約1.5時間  
**場所** 新潟県立近代美術館 (5回目は約6時間)  
**内容**

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	4月29日14時～	ギャラリートーク「画家が見た初期洋画の技術」	作家 早津剛
	内容・方法	「油絵事始め」展の作品を前に、画家の眼から話をする	
2	5月5日14時～	講演会「油絵事始め 山岡コレクションの魅力」	文星芸術大学教授・明治美術学会会長 青木茂
	内容・方法	「油絵事始め」展に関連し、山岡コレクションの魅力を語る	
3	5月24日14時～	ギャラリートーク「画家が見た初期洋画の技術」	作家 池山阿有
	内容・方法	「油絵事始め」展の作品を前に、画家の眼から話をする	
4	6月21日19時～	キャンドルナイト@kinbi	五十嵐幸子、畠山徳雄とデュオセッション
	内容・方法	現代美術展の関連企画。小学生によるキャンドルフード製作とミニコンサート	
5	6月23～25日14時～	秋山さやか 公開制作	作家 秋山さやか
	内容・方法	ネオテニ・ジャパン展の出品作家が長岡をテーマに新作を公開制作する	
6	7月12日15時～	Noism09「nomadic」	Noism09
	内容・方法	現代美術展に関連し、企画展示室でコンテンポラリー・ダンスを紹介する	
7	7月25日14時～	電子音響室内楽「Ar」	福島諭、濱地潤一
	内容・方法	現代美術展に関連し、最新の芸術表現である電子音楽の一例を紹介する	
8	7月21日14時～	「ネオテニー・ジャパン」展出品作家によるギャラリートーク	秋山さやか、加藤泉、鴻池朋子、須田悦弘
	内容・方法	ネオテニ・ジャパン展の出品作家4名が、展示室で自身の作品について語る	
9	8月2日14時～	高橋龍太郎×ゲストトーク	高橋龍太郎、内田真由美、児島やよい
	内容・方法	ネオテニ・ジャパン展のコレクターと企画・監修者が対談する	
10	8月30日14時～	山口晃 アーティストトーク&サイン会	作家 山口晃
	内容・方法	ネオテニ・ジャパン展の出品作家が制作や作品について語る	
11	10月31日14時～	講演会「土田麦僊とヴェトイユの少女 画像の背後のフランス」	京都市立芸術大学教授 柏木加代子
	内容・方法	「土田麦僊」展に関連し、麦僊作品の新たな解釈を提示する	

**成果** ・ 展覧会に関連した講演会やコンサート等、多彩なイベントを実施し、参加者数も多く関心の高まりが見られた。美術に関する多様な文化活動に参加者が親しみ楽しむことができる機会と場の設定ができた。

**課題** ・ 幅広い様々な領域とのつながりを考えた催しを企画立案していく。

**問合せ先** 新潟県立近代美術館学芸課

TEL : 0258-28-4112

## 事業名 新潟県立近代美術館 出前講座

**趣 旨** 市町村、公民館、町内会、PTA、保育園、幼稚園、学校等が主催する講座に、当館学芸員等を講師として派遣し、美術鑑賞講座やワークショップ等を行い、美術館や作品鑑賞等にかかわる理解を深める。

**実施主体** 新潟県立近代美術館

**参加対象** 一般

**参加者数** ①20 ②14 ③59 ④71 ⑤17 ⑥12 ⑦33 ⑧37 ⑨45 ⑩100 ⑪22 合計430

**回数** 11回 **日数** 11日 **時間** 各回約1.5時間

**会場** 県内11会場

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	6月5日15時10分～	美術鑑賞講座「横山操と新潟」	副館長 横山秀樹
	内容・方法	燕市西蒲原郡小学校教育研究会の教員を対象に、横山操の人と作品について話す	
2	期日・時間	テーマ	講師等
	6月23日16時～	ワークショップ「どこでもアート」	学芸課長代理 立川厚生
3	内容・方法	長岡市立上組小学校造形部員が、紙チップを使った創作活動を行う	
	期日・時間	テーマ	講師等
4	7月9日10時40分～	ワークショップ「マチスの切り絵に迫る」	学芸課長代理 立川厚生
	内容・方法	新潟市立亀田小学校6年生が、マチスの切り絵を参考に色画用紙を使って表現する	
5	期日・時間	テーマ	講師等
	9月8日9時30分～	ワークショップ「現代アートを体験」他	学芸課長代理 立川厚生
6	内容・方法	新潟市立岡方第二小学校の児童が、低中高学年に分かれて創作活動を行う	
	期日・時間	テーマ	講師等
7	9月25日10時30分～	ワークショップ「マチスの切り絵に迫る」	学芸課長代理 立川厚生
	内容・方法	県立月ヶ岡養護学校ふなおか分校の生徒が、マチスの切り絵を参考に表現する	
8	期日・時間	テーマ	講師等
	10月7日13時30分～	美術鑑賞講座「砂浜を描いた洋画家 國領経郎」	主任学芸員 佐藤克己
9	内容・方法	「まなびすとin柏崎」の市民講座で、國領経郎の人と作品について話す	
	期日・時間	テーマ	講師等
10	10月14日9時～	ワークショップ「どこでもアート」	主任学芸員 佐藤克己
	内容・方法	出雲崎町立出雲崎小学校1年生が、紙チップを使った創作活動を行う	
11	期日・時間	テーマ	講師等
	10月20日10時～	ワークショップ「色と形でピカソに挑戦」	学芸課長代理 立川厚生
12	内容・方法	関川村やまゆり大学の講座で、ピカソのキュビスムの手法を使って創作する	
	期日・時間	テーマ	講師等
13	10月21日14時～	美術鑑賞講座「長岡出身の洋画家 小山正太郎」	主任学芸員 野村宏毅
	内容・方法	長岡市立小国中学校3年生を対象に、小山正太郎の人と作品について話す	
14	期日・時間	テーマ	講師等
	10月31日13時30分～	ワークショップ「現代アートを体験」他	学芸課長代理 立川厚生
15	内容・方法	糸魚川市立糸魚川小学校の親子体験コーナーで、創作活動を行う	
	期日・時間	テーマ	講師等
16	11月15日14時～	美術鑑賞講座「岩田正巳と新興大和絵の画家たち」	主任学芸員 長嶋圭哉
	内容・方法	三条市民公開講座で、岩田正巳と新興大和絵の画家たちの作品について話す	

**成 果** ・ 県内の広域にわたって各種幅広い団体からの依頼があり、好評であった。当館の事業や作家・作品についての関心が高まった。

**課 題** ・ ワークショップでは大人数の団体への対応が難しい。講座内容によって対象人数に定員を設けたり、可能であれば複数で対応したりする。

**問合せ先** 新潟県立近代美術館学芸課

TEL : 0258-28-4112

## 事業名 美術鑑賞講座

**趣 旨** 学芸員が展覧会あるいは美術に関連する講座を行い、美術に関する理解を深め、美術館に親しみを持つ機会とする

**実施主体** 新潟県立万代島美術館

**参加対象** 一般

**参加者数** ①20 ②16 ③60 ④12 ⑤10 ⑥7 ⑦実施予定 ⑧実施予定

**回数** 8回 **日数** 8日 **時間** 各回約1.5時間

**場所** 万代島ビル11階 NICOプラザ会議室

### 内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	6月13日(土) 14:00～	「日本画家の生涯と作品②土田麦僊」	万代島美術館主任学芸員 池田珠緒
	内容・方法	土田麦僊の主要作品をその生涯とともに紹介	
2	期日・時間	テーマ	講師等
	7月18日(土) 14:00～	「現代の美術－1980年代」	近代美術館学芸課長 藤田裕彦
内容・方法	1980年代の世界および日本の美術について紹介		
3	期日・時間	テーマ	講師等
	8月8日(土) 14:00～	「佐伯祐三－天才画家という存在」	万代島美術館主任学芸員 澤田佳三
内容・方法	企画展に関連し、佐伯祐三の作品と評価について紹介		
4	期日・時間	テーマ	講師等
	10月10日(土) 14:00～	「世界遺産をめぐる旅⑤中世グルジアの教会壁画」	近代美術館主任学芸員 高晟埃
内容・方法	グルジアの中世壁画・モザイクについて紹介		
5	期日・時間	テーマ	講師等
	11月14日(土) 14:00～	「美術のすがた④-近代の壁画をめぐる」	万代島美術館主任学芸員 澤田佳三
内容・方法	明治から昭和前期までの日本近代の壁画について紹介		
6	期日・時間	テーマ	講師等
	1月16日(土) 14:00～	「広告と美術」	近代美術館学芸課長 藤田裕彦
内容・方法	19世紀末から今日までの欧米の広告と美術との関わりについて紹介		
7	期日・時間	テーマ	講師等
	2月6日(土) 14:00～	「北東アジア近現代美術史①ロシア:ピョートル大帝からペレストロイカまで」	近代美術館主任学芸員 高晟埃
内容・方法	ロシアの近現代美術史について紹介		
8	期日・時間	テーマ	講師等
	3月13日(土) 14:00～	「日本画の歴史入門 花鳥画の歴史」	万代島美術館美術学芸員 飯島沙耶子
内容・方法	日本絵画の伝統的な画題である花鳥画について紹介		

**成 果** ・ 展覧会に関連するものや学芸員の専門に関するものなど、多岐に渡る内容で昨年度と同様に全8回実施した。各講座ではスライドや資料を用いて、一般にも分かり易い内容となるよう努めた。いきいき県民カレッジとも連携した。

**課 題** ・ 受講者数が低迷している。広報方法を探るとともに、講座の内容についても検討する必要がある。

**問合せ先** 新潟県立万代島美術館 電話：025-290-6655

## 事業名 アーティスト・トーク

**趣 旨** 「記憶のかたち」展に合わせ、出品作家の生の声を聞き、作品に対する理解を深める機会とする。

**実施主体** 新潟県立万代島美術館

**参加対象** 一般

**参加者数** ①24 ②30 ③26 ④15 ⑤22 ⑥25 ⑦50 ⑧35 ⑨26

**回数** 9回 **日 数** 9日 **時 間** 各回約0.5～1時間

**場 所** 万代島美術館展示室

### 内 容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	5月2日(土)14:00～	アーティスト・トーク	小林充也(出品作家)
	内容・方法	自作について解説する	
2	5月4日(日・祝)14:00～	アーティスト・トーク	杉原伸子(出品作家)
	内容・方法	自作について解説する	
3	5月9日(土)14:00～	アーティスト・トーク	麻績勝広(出品作家)
	内容・方法	自作について解説する	
4	5月10日(日)14:00～	アーティスト・トーク	星野健司(出品作家)
	内容・方法	自作について解説する	
5	5月16日(土)14:00～	アーティスト・トーク	吉原悠博(出品作家)
	内容・方法	自作について解説する	
6	5月17日(日)14:00～	アーティスト・トーク	稲田亜紀子(出品作家)
	内容・方法	自作について解説する	
7	5月24日(日)14:00～	アーティスト・トーク	西村満(出品作家)
	内容・方法	自作について解説する	
8	5月31日(土)14:00～	アーティスト・トーク	近藤充(出品作家)
	内容・方法	自作について解説する	
9	6月7日(日)14:00～	アーティスト・トーク	鶴巻貴子(出品作家)
	内容・方法	自作について解説する	

**成 果** ・ 9名の出品作家全員がそれぞれ展示室にて自作を解説し、作品の制作過程や背景にこめた思いなどを直接語る機会となった。参加者からはアンケート等で好意的な意見が寄せられた。県ゆかりの作家と県民をつなぐ有意義な催しとなった。

**課 題** ・ 作家によって参加人数にばらつきがあり、もう少し人数を伸ばしたかった回もあった。作家の人脈や知名度のみに頼るのではなく、館でも広報の工夫がより必要だと感じた。

**問合せ先** 新潟県立万代島美術館 電話：025-290-6655

## 事業名 特別イベント(講演会、トークイベント、コンサート、ワークショップ)

**趣 旨** 展覧会に関連する講演会やコンサート等を行って誘客を図るとともに、来館者が美術館に親しみを持ってもらう機会とする。

**実施主体** 新潟県立万代島美術館

**参加対象** 一般(④のみ小学生)

**参加者数** ①56 ②36 ③のべ340 ④10

**回 数** 4回 **日 数** 4日 **時 間** 下記参照

**場 所** ①万代島ビル1 1階NICOプラザ会議室②万代島美術館展示室  
③万代島ビル1階エントランスギャラリー④万代島ビル1 1階NICOプラザ会議室

### 内 容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	7月4日(土) 14:00~15:40	講演会「佐伯祐三とその芸術」	大阪大学総合学術博物館教授 橋爪節也
	内容・方法	展覧会の内容に沿い、佐伯祐三の作品と人物について講演	
2	期日・時間	テーマ	講師等
	7月26日(日) 18:30~19:30	トークイベント 「Noism金森穰 佐伯祐三を通じ創作を語る」	Noism 金森穰 万代島美術館主任学芸員 澤田佳三 (司会)BSN新潟放送 石塚かおり
	内容・方法	金森氏が自らの渡欧体験や舞踊を通じての経験を通し、佐伯祐三について語る	
3	期日・時間	テーマ	講師等
	11月7日(土) 1回11:00~/2回 13:30~/3回15:00 ~(各回30分)	ジブリの絵職人男鹿和雄展開催記念 「はなちゃんず」スタジオジブリ名曲コンサート	はなちゃんず
	内容・方法	ジブリ作品の名曲の数々をよし笛で演奏する	
4	期日・時間	テーマ	講師等
	11月7日(土) 13:00~15:00	ワークショップ 「ジブリの絵職人男鹿和雄展」新潟展開催記念ワークショップ おりがみ折って…絵を描いて… 男鹿和雄さんと遊ぼう！！	男鹿和雄(出品作家) 万代島美術館主任学芸員 宮下東子
	内容・方法	男鹿和雄氏とともに折り紙でウミガメやトトロを折る	

**成 果** ・ 講演会は展覧会と直結する内容であり、多くの佐伯作品と接してきた講師ならではの内容となった。トークイベントでは県外からの参加者も見られた。コンサートは多くの人数を集め、幅広い層が楽しめる催しとなった。ワークショップでは10名のこども達が集中して折り紙に取り組み、男鹿氏との交流も深めることができた。

**課 題** ・ 限られた予算と人員の中で、今後も来館者と美術館とを結ぶ魅力的なイベントを出来る限り数多く行っていく必要がある。

**問合せ先** 新潟県立万代島美術館 電話：025-290-6655

**事業名** 新潟県立歴史博物館 天地人リレー講演会

**趣 旨** 当館及び新潟県内市町村が連携して、「直江兼続とその時代」について第一線の研究者が解き明かす講演会。県内各地の歴史についての関心を醸成するとともに、歴史を核とした地域資源の掘り起こしの契機となることを目的とする。

**実施主体** 新潟県立歴史博物館

**参加対象** 一般

**参加者数** 延べ 787名

**回 数** 7回 **日 数** 7日 **時 間** 10.5時間 (90分×7回)

**場 所** 県内7会場 (下記)

**内 容**

各回とも配付資料・視聴覚機材を用い実施、講義後、質疑応答を行った。

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	7月5日(日) 13:30～15:00	上杉の城・織田の城 会場：新井総合コミュニティセンター	奈良大学文学部 教授 千田 嘉博氏
	内容・方法	城の構造やその歴史を解説し、ヨーロッパの城と比べつつ、日本の城の特徴や城の持つ魅力を語った。	
2	8月9日(日) 13:30～15:00	天地人とその時代～直江兼続の生涯と豊臣政権～ 会場：新潟県立歴史博物館	大阪城天守閣 研究副主幹 北川 央氏
	内容・方法	NHK大河ドラマの主人公直江兼続の生涯について、豊臣秀吉政権のなかに上杉景勝・兼続を位置づけつつ解説した。	
3	8月30日(日) 13:30～15:00	戦国武将のファッション～もののふとしての装い～ 会場：新潟県立歴史博物館	共立女子大学家政学部 教授 長崎 巖氏
	内容・方法	戦国時代の武将は戦地においても華やかな装束で身を飾っていた。現代まで伝来した陣羽織・甲冑や、当時の絵画資料に描かれた武将たちの装束などから、戦国時代のファッションを紹介した。	
4	10月11日(日) 13:30～15:00	北信濃国衆と上杉景勝・直江兼続 会場：十日町情報館	長野県立歴史館 学芸員 村石 正行氏
	内容・方法	上杉氏と武田氏の対立、御館の乱、武田氏の滅亡などによって大きく左右された中近世の信越国境付近の情勢について解説した。	
5	10月18日(日) 13:30～15:00	景勝・兼続と「佐渡」国～佐渡金銀山の開発と支配～ 会場：佐渡市金井能楽堂	新潟市歴史博物館 学芸員 長谷川 伸氏
	内容・方法	中世から近世にかけて、上杉謙信・景勝、豊臣秀吉、徳川家康と、次々と支配者が変わっていった佐渡金銀山。その変遷の過程や支配の様子について史料をもとに読み解いた。	

6	11月15日（日） 13:30～15:00	越後の能楽、能楽の越後 会場：新潟県立歴史博物館	金沢大学文学部 教授 西村 聡氏
	内容・方法	桃山時代に隆盛期を迎えた能楽。その全国的な傾向や越後の能楽の特徴について解説するとともに、能楽の作品に描かれた当時の越後の様子を紹介した。	
7	11月22日（日） 13:30～15:00	「天地人」の時代と柏崎 会場：柏崎市民プラザ	新潟県立新津高等学校 教諭 木村 康裕氏
	内容・方法	戦国～安土・桃山時代の柏崎の様子について、文書を読み解きながら「中世柏崎・刈羽の世界」「中世柏崎・刈羽の武将」「御館の乱と柏崎」「上杉景勝の柏崎支配」の4つの視点から解説した。	

**成 果**

- ・ 昨年度、当館が中心となって新潟県内7市と連携して「天地人リレー講演会」を実施（15回）、今年度はさらに昨年度未実施の4市と連携して講演会を行った。どの会場でも、たくさんの方々に参加いただき、会場市町村の方々はもちろん、県内各地を巡りながら、全ての会場へ足を運び、講演会へ参加される方もおられた。  
本事業の展開により、新潟県内各地の歴史についての関心を醸成するとともに、各市町村が持っている歴史的価値を発信することができ、それぞれの歴史的価値を広く県民と共有することができた。

**課 題**

- ・ どの会場も「満足した」が90%を超える（参加者アンケートより）など、好評を得たが、当然ながら「改善すべき」との指摘をいくつかいただいた。そして多くは、講演の内容に関するものではなく、会場、受付、広報など主に運営にかかわるもので、会場市町村担当者と当館職員が、事前の連絡・確認をより綿密に行うことで解決できたものであった。いただいた意見を参考に本事業での課題を洗い出し、今後の他機関との連携事業の折に生かしていきたい。また、本事業を通して構築した各市町村とのパイプを今後も有効に活用し、より発展させていきたいと考えている。

**問合せ先** 新潟県立歴史博物館 交流普及課（担当 久保 英典、小林 昌英）  
TEL：0258-47-6135